京城日報
二十七日夕刊（朝夕刊併せて八頁）
發行所 京城太平町通一丁目 京城日報社
編輯兼發行人　印刷人 小川三之助

總督告辭

品評會授賞式に於ける

全鮮釀造品々評會褒賞授與式は別項記載の如く二十七日午前十一時より總督府第二會議室に於て開催せるが當日の席上長谷川總督の述べたる告辭左の如し

告辭

茲に朝鮮釀造品々評會褒賞授與式を擧行するに方り一言各位に告ぐる所あらむとす、朝鮮に於ける釀造業は逐年產額を增加し品質を改善し其の成績見るべきものあり、今回本品評會を開催したるは其の實狀を明にすると共に釀造の技術と品質の優劣を闡明して將來の發展を促さむとするに在り、今之を審査の結果に徵するに始政五年記念共進會に於ける出品に比し進歩の顯著なる所を見るは本總督の滿足する所なりと雖も尙ほ改善の餘地尠きに非ず、各位は益々研鑽を加へ斯業の發達を期し以て本會開催の效果を完ふせむことを望む

吉林事變一段落

孟吉林督軍一派は北京の命令を奉ぜず張奉天督軍の反對等に鼻柱を折られたるも騎虎の勢已む可くもあらず遂に長春城內支那銀行の金庫を封鎖し其動を總司令官とせる獨立軍の編成を終り兵を長春に集中せしが二十五日夜遂に北京政府より安協を申込み姑く田中玉氏の赴任を見合せ孟督軍の留任を許したれば獨立軍司令部は撤回し吉林事件は姑息的一段落を告げたり（奉天特電）

艦隊南方を去る

廣東に在る第一艦隊は陸榮廷氏一派と衝突し陳炳焜氏と手を切り海圻外八隻の軍艦は石炭を積み込み拔錨準備中なり原因は給料の不拂と新門砲臺に就き管轄爭ひを生じたるが爲めなり（北京特電）

段內閣動搖す

外交總長汪大燮氏及び農商總長張國淦氏何れも辭職の意あり爲めに段內閣動搖しつゝあり（北京電報）

駐支各公使會議

二十六日北京英國公使館內に於て各國公使の會議開かれたるがヂョルダン氏歸任後第一回の會議として注目せられたり（北京特電）

單獨講和否認

英國下院にてロバート、セシル卿は西方諸國が露西亞及び羅馬尼を犧牲として單獨講和を爲さん事を計畫しつゝありとの風說を絶對に否認し且つ曰く『此の風說は盟國に於ける敵國の手先が露國の士氣を沮喪せしめんとの希望を以て流布せしものなり』と（倫敦電報）

ケ氏司令官辭職

露都發電に依れば首相ケレンスキー氏は其の兼攝せる陸海軍司令官を辭し後任者に讓るべしと而して其の後任者は略ぼ確定し近く發表せらるべしと（路透電報）

露軍逆襲を計畫

波羅的方面戰鬪地域內に於ける露國艦隊は獨逸艦隊の壓迫を蒙りつゝあるも陸上にては敵に四倍する露軍隊良好なる狀態に配置せられつゝあり我軍の一部隊はタグラットと稱する一小灣に上陸せしが此の地は援兵を上陸せしめ得る一の場所なり北風吹き荒み波荒れしに拘らず我部隊輸送は遂行せられたり敵水雷艇は絶えず我交通を脅かさんと企て交通保護の任にある我艦隊に對し敵は激甚なる攻擊を行へり、我軍は敵を激襲する爲め援軍の派遣を急ぎつゝあり獨軍のドゥイナ河に架橋せんとする企ては我砲火の爲め破壞されたり（露都電報）

露外相辭表提出

其筋着電に依れば露國外務大臣テレシチエンコ氏は辭表を提出せりと（東京電報）

獨帝日本出兵を豫期

羅馬來電＝獨逸は來春日本が露國戰線に出兵す可きを豫期し居れりリガ灣占領も之に備ふる爲なりと（倫敦電報）

獨軍十五哩退却

露都公報＝リガ地方に於ける獨軍は十五哩退却し今やプスコフ附近のヤーグル方面に在る敵は退却の際建築物道路橋梁等を破壞せり（倫敦電報）

議會召集期

第四十帝國議會は十二月廿四日を以て東京に召集さる可しと傳へらる（東京電報）

綿糸界稍活況

綿絲界救濟の爲め東西聯合の運動起れり其影響を受けしものが二十六日は少しく活況を呈せり（大阪特電）

三代議士來鮮

代議士武藤金吉氏同熊谷直太氏同粗谷義三氏等は天鬼事海益三氏等と共に蒙古に於ける綿羊、鐵其他の產出物觀察の爲め赴く途二十七日朝釜山に上陸十時半發京城へ向ひ同地に一泊の上蒙古に向ふ筈なり

羅國公使通過

羅馬尼公使マコラスエキチエホール氏夫妻は隨員一名を隨へ二十七日午前五時四十分來釜同八時半櫻丸にて內地に向へり（釜山特電）

小田窯業社長

朝鮮窯業會社長小田幹次郎氏は會社事業視察の爲め二十七日朝來釜二十八日三浪津及び大邱に向ふ筈（釜山特電）

日支親善の捷徑

百の政策よりも經濟提携　山科禮藏氏談

東京商業會議所副會頭山科禮藏氏一行が車中に迎へて意見を叩くと曰く

今回は朝鮮の商工業と相俟つて日支兩國の貿易狀態を研究し以つて日支間に於ける實業發展に資せん事刻下の急務であると同時に所謂日支親善には實際實業家が往復して互に相互の意志を疏通せしめ各々其の內情をも諒解し合ふと言ふ事が何より必要だと心得視察を企てた譯であるが十二月と云ふ月が控へてゐるのでどうも思ふ樣に行かない一體十二月は商人の最も忙がしい時機なので本行もどうせ一度引返して又出直さなければなるまい、其れでないと南方廣東方面迄行つて臺灣に廻れば非常に都合が良い譯となるのだが……今度は上海から直ぐ船で歸らねばならない、元來支那と云ふ國は

△金主義の國　で此の間の三千九百何萬かと云ふ內債も一億圓位でも此を調べて見ると其の內七千萬かは內債と云ふ譯で殘りの三千萬圓位は外債である所で支那全土の富力を調べて見ると三十億位の金は何でもない支那人は一體個人主義の非常に發達した國民で一度摑めば決して放さうとしない、國家の爲めだとか政府の爲めだとか言つても決して信用しない自分の政府すら信ずる事の出來ない國民だから他國の日本等が日支親善等といくら叫んでも彼等が信じないのも無理はない事である。だから特別の外交とか一つの政策とか日支親善を唱へても彼等には何等の

△反響　をも與へない直接經濟的に利益關係を押して親善の意味を徹底せしめるより外に途は無いだらう、卽ち各方面から實業家の頻繁なる往來より引いて經濟的に親善策を講ずるのが一番捷徑であらうと信ずる。此の間の鐵路問題の如きに就いても同じで支那人をして日本人と提携して居れば總ての點に於て安心だ大丈夫だと云ふ感念を與へて置く事が必要だらうと思ふ。親善と云ふにはどうしても彼等に多大なる

△好感を與へる事が必要で此の好感と云ふ事に就いては案外些細な事が役に立つものである。其れで日本人に投資家の少ないのは誠に遺憾とせねばならない米國邊りでは事業の見込さへ付けば何時でも投資する幾何でも放資するあの手腕には到底吾々日本人の企て及ばざる所がある又米國の成金等と言へば百億千億と云ふ程度に在るのだから其の一割や其所ら位割いても何の事はない譯であるが日本では左う言ふ譯には行かない一億にも達して居る人は先づ鮮いとして大概は七千萬、五千萬圓で終りを結んで居る樣な有樣である。話しは後に戾るが今回の

△天津の洪水　問題でも如何にかして救濟方法を講じて遣り度いものである丁度自分達が出立する時分に此の議が起つたけれども何等具體的に述べる迄の域に達して居ないのは遺憾とする所である、斯樣な事は極めて小なる問題の樣であるけれども內地に於ける風水害の間際に臨んで而かも天津洪水救濟の途を講じて貰つたと言ふ事は彼等としても非常なる好感を持す事は爭はれぬ事柄に屬せなければなるまい卽ち親善上にも案外

△偉大な力　なり効を奏するものである、風水害と云へば今度自分達の方でやつた救濟會は大成功を收める事が出來た四十三年の水害の時にも行つたのだが其の時には金が十六萬圓ばかり集まつたから今度も大低二十萬圓ばかりの見當で居たのだつたが集まつた金が去る二十日迄に六十五萬圓程集つたので一應締切つて仕舞つた譯で、も少し締切らずに置いたら百萬位は集まつたかも知れない、而して東京方面の救濟は既に濟み其の解決を見て居る次第であるのみならず近縣千葉、茨城、埼玉の地方に迄其の餘澤を及ぼすことが出來たのは何より幸であつた

◆東京商議員團入京　山科副會頭（上）篠田議員（下）

日支博計畫

山科氏の渡支目的

東京商業會議所副會頭山科禮藏氏並びに支那貿易及び同會議所議員數氏が今回の渡支の目的は日支貿易及び一般經濟界の狀況を視察するに在りと雖も一面には東京に於て日支博覽會を開催すべき計畫を有し同件に關し同國當路者と種々打合を爲す筈にて開催の日時は未だ確定せざるも大正七年若くは翌八年に於て實現せしむる豫定なりと山科氏は記者に語れり

稅關長會議

全鮮稅關長を召集

來る十一月六日より五日間全鮮稅關長會議開催につき二十六日附を以て元山稅關長松井房次郎、仁川稅關長櫻井小一、鎭南浦稅關長野手耐、釜山稅關長矢野久三郎に對し出府命令の辭令ありたり

檢査課長會同

各稅關檢査課長の事務打合會議は二十九日より五日間開會につき二十七日著京の諸官は第一會議室に參集し正午散會したり

露貨激落

露都移轉決行か

二十七日朝鮮銀行入電によれば哈爾賓に於ける留相場は百圓對六百六十留に激落し三四日前に比し約七八十留方の下値となれるが同じく倫敦並に紐育の留相場も頓に下落したる由にて露貨の信用は全く地を拂ひたる觀あり此の暴落は獨逸のリガ侵入愈々深くペトログラードの危機は目睫の間に迫り來りたるを以て愈々其の首都を莫斯科移轉決行を見越したるものゝ如く貨幣市場に於ける露國前途觀は甚しく悲況に傾けるものゝ如し

朝郵決算

配當は年一割

朝鮮郵船會社にては三十日本社樓上に株主總會を開き大正六年度上半期決算案及び利益金分配案を附議する事となりしが當期の益金分配案は左の如し

第五期下半年度より繰越	四五、三五四、三〇
當期利益金	二三三、七三五、三四
合計	二七九、〇八九、六四
內	
準備積立金	一二、〇〇〇、〇〇
別途積立金	七〇、〇〇〇、〇〇
役員賞與金	一〇、〇〇〇、〇〇
海陸職員臨時特別手當金	九、三三〇、七五
配當平均準備積立金	三五、〇〇〇、〇〇
配當金（年七朱）	五一、五〇〇、〇〇
臨時特別配當金（年三朱）	二二、五〇〇、〇〇
次期へ繰越高	[illegible]

專修學校認可

慶尙南道昌原郡鎭海面に鎭海公立簡易專修學校設立認可申請中の處十月二十五日附を以て總督の認可ありたり

品評會受賞者

合計百四十一名

朝鮮釀造品品評會は二十七日午前十一時褒賞授與式の擧行と同時に審査の結果を公表したり、今回の入選數は合計百四十一點にして其の內優等五、一等十四、二等二十七、三等五十五なり受賞者如左

優等

清酒　泰平　慶尙北道大邱府　齋藤榮作
同　菱正宗日號　慶尙南道釜山府　辻酒造株式會社
同　萬國　全羅北道群山府　上野源七
醬油　㊞　京畿道仁川府　日本醬油株式會社
同　時雨印　平安南道鎭南浦府　藤本留藏

一等

清酒　豐公　京畿道京城府　中井忠三
同　花盛　慶尙南道馬山府　東久男
清酒　四海乃波　慶尙北道大邱府　齋藤榮作
同　勳賀正宗　京畿道仁川府　吉岡隱太
同　誠鶴　同　深見勝三郎
同　三巴自慢　京畿道京城府　荒井初太郎
同　河野正宗　全羅北道群山府　河野惣三郎
同　彌生　慶尙南道馬山府　遠藤豐吉
醬油　◎　京畿道仁川府　高杉昇
同　✡　全羅北道群山府　上甲龜太郎
同　龜甲ミツワ　橫山與市
同　京畿道京城府　岡本隱太
赤味噌　美やこ　京畿道京城府　戶島祐次郎
白味噌　同　慶尙南道釜山府　岡村三助

二等

清酒　金戒　咸鏡南道元山府　金光酒造合資會社
同　清正　京畿道京城府　中井忠三
同　ひら正宗　慶尙南道馬山府　平井寬緣
同　若鶴正宗第一號　京畿道京城府　大島常次郎
同　鶴ノ井　同　灘波與太郎
同　大正櫻　慶尙南道馬山府　合資會社清水釀造場
同　勉强正宗　慶尙南道釜山府　丸金酒造株式會社
清酒　八道　慶尙南道馬山府　西田木惣平
同　菊の泉　平安南道平壤府　中田喜太郎
同　振天　京畿道仁川府　吉金喜三郎
同　佐壽賀　慶尙南道釜山府　竹鶴輝二
溜醬油　極上印　慶尙北道大邱府　坂野鍊之助
醬油　地印　平安南道鎭南浦府　柳原虎松
同　龜甲菊　京畿道京城府　戶島祐次郎
同　鳳　忠淸南道大田郡　辻謙之助
同　釜山印　慶尙南道釜山府　木寺クニ
同　京畿道京城府　關西商會 關繁太郎
同　營印　同　山本榮吉
同　⑪印　咸鏡北道淸津府　佐々木逸次郎
同　京畿道京城府　相川辰五郎
同　入山二郎　兼古體藏
赤味噌　余　慶尙南道釜山府　山根太吉
同　余　同　山本類之助
朝鮮燒酎　咸鏡南道咸興府　金滄集
燒酎　朝鮮燒酎　平安南道平原郡　金雨植
同　咸鏡南道元山府　徐明燮
味淋　十路　京畿道京城府　中井忠三

三等

清酒　和歌松　慶尙北道大邱府　若林誠助
同　白菊　全羅北道群山府　岩本仲二
同　大正正宗　全羅北道群山府　香原助太戶
同　菱正宗　慶尙南道釜山府　辻酒造株式會社
同　若鶴正宗第一號　京畿道京城府　大島常次郎
同　里の鶴　全羅南道羅州郡　池川清貞
同　金鳳　慶尙南道馬山府　岡田玉吉
同　菱　同　田村信次
同　瀧正宗　京畿道京城府　難波與太郎
同　しら百合　同　野村貸
同　菱　全羅南道順天郡　森谷馬吉
同　朝鶴　平安南道平壤府　田村甚次
同　金日乃出　京畿道京城府　荒井初太郎
同　富久鶴正宗　慶尙南道馬山府　永武まつ
同　高麗菊　京畿道京城府　宮原藤太郎
同　吉兆　全羅北道錦山郡　佐藤幸三郎
同　大正菊　慶尙南道馬山府　合資會社清水釀造場
同　松正宗　平安南道平壤府　松岡吉次
同　佐壽賀日號　慶尙南道釜山府　竹鶴輝二
同　ほり川正宗　同　原田竹次郎
同　相正宗　慶尙南道蔚山郡　中山
同　錦　慶尙南道馬山府　井手龜治郎
同　大錦　京畿道仁川府　高野周三郎
同　正宗　慶尙南道馬山府　五反田當太郎
同　羽衣　京畿道京城府　重藤定太郎
同　松泉　慶尙南道馬山府　松井弼太郎
同　不二正宗　平安南道平壤府　田村榮一
醬油　龜甲　忠淸北道沃川郡　虎岩
同　龜甲喜　京畿道京城府　日下部
同　特印　京畿道開城郡　石崎勝太郎
同　富士印　京畿道京城府　鹽田卯三郎
同　最上　全羅北道群山府　赤松榮吉
同　山　慶尙南道釜山府　四本類之助
同　春　忠淸南道公州郡　江口久吉
同　○傑　慶尙南道釜山府　中村俊松
同　○　黃海道海州郡　谷島英太郎
同　清水　黃海道海州郡　清水啓吉
同　山容　京畿道京城府　三好喜六
醬油　龜甲成　咸鏡南道咸興府　森田泰輔
同　龜甲　慶尙南道釜山府　河野嘉市
同　特上　全羅南道木浦府　大塚典平
赤味噌　山忠　忠淸南道大田郡　辻謙之助
白味噌　金二ほまれ　京畿道京城府　日本醬油株式會社京城出張所
同　ほまれ　京畿道仁川府　日本醬油株式會社
同　○岩　平安南道平壤府　宮川五郎三郎
同　美やこ　平安北道義州　永井庄三郎
同　京畿道京城府　戶島祐次郎
赤味噌　慶尙南道釜山府　伊藤小太郎
朝鮮燒酎　黃海道黃州郡　朴永都
同　平安南道平原郡　李炳模
同　平安南道江西郡　金景文
同　平安南道平壤府　金光
同　慶尙南道昌原郡　高野權平
日本燒酎　平安北道義州郡　金淑健
支那燒酎

東清線讓受交涉

遠からず調印を見ん　進捗

露國より東清鐵道南半線讓受の事は大隈內閣當時我政府との間に大體の商議成立し既にニコラス前露國皇帝の裁可を得たるが其の價額並に讓受の範圍を松花江左岸とすべきや將た右岸とすべきやに就き交涉擺らず時日遷延の折柄露國に革命起り一時中止の姿となり其後露國新政府の成立を見るや寺內內閣は露國大使クルペンスキー氏との間に交涉を進めたるが頗る順調に進捗し最近價額及び讓渡範圍に就きて一致點を見出すに至りたるより遠からず調印の運に至る可し而して其讓受範圍は寬城子より松花江左岸に至る七十餘哩にして價額一哩三十餘萬圓總額二千五百萬圓內外なる可しと（東京特電）

軍司令官著春

松川軍司令官一行は二十七日午後零時二十分春川到著、主要官民公共團體及び各學校生徒約一千名の出迎を受け旅館萩野に入れり當日午後には春川守備隊を視察し尙ほ同夜は官民有志の主催に係る歡迎會に臨席し二十八日午後一時發歸京の途に就くべしと（春川電話）

古海總長陪觀

警務總長古海陸軍中將は司令部附中島赤澤辰三郎氏を隨へ內地に於ける機動演習陪觀の爲め二十七日午後七時十分南大門驛發の列車にて內地へ出張すべし

持地長官歸任　廿六日

歸任の筈なりし遞信局長官持地六三郎副事務官柳田喜三郎氏の一行は連絡船延著の關係上一日を遲れ二十七日午前八時五十分著列車にて歸任せり

中村檢事長歸京

京城覆審法院檢事長中村竹藏氏は過般米國に出張中なりしが二十八日午後九時南大門著歸京す可し

阿部支店長入京

股野貫之氏と共に露都に向ひゐたる鮮銀哈爾賓支店長阿部讓氏は二十一日ハルビン著歸朝數日滯哈の上二十六日午後七時三十分南大門著列車にて入京せしが兩三日滯京の上歸哈すべし因に股野氏は尙ほ露都にあり

辭令

今回左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府山林技師　伊藤門次　敍高等官六等九級俸下賜
朝鮮總督府京畿道技師　鷹岡克己　敍高等官七等十級俸下賜

中學生歸校

京城中學校職員生徒百十四名は滿洲地方に修學旅行中なりしが廿八日午前八時南大門著列車にて歸京の筈なり

人事消息

▲陳東吉氏（代議士）二十六日夜退京
▲成瀨行愛氏（鑛業家）同上
▲高木俊三介氏（工學士）同上
▲淡船雄穗氏（法學士）同上

彼れ此れ

○近く開催の、巴里會議は、聯合國の主手箱也。其の內容は知り難く、豫測するを得ざるも、獨逸の講和提議に關する事は、何人も略推察は難からざる也。

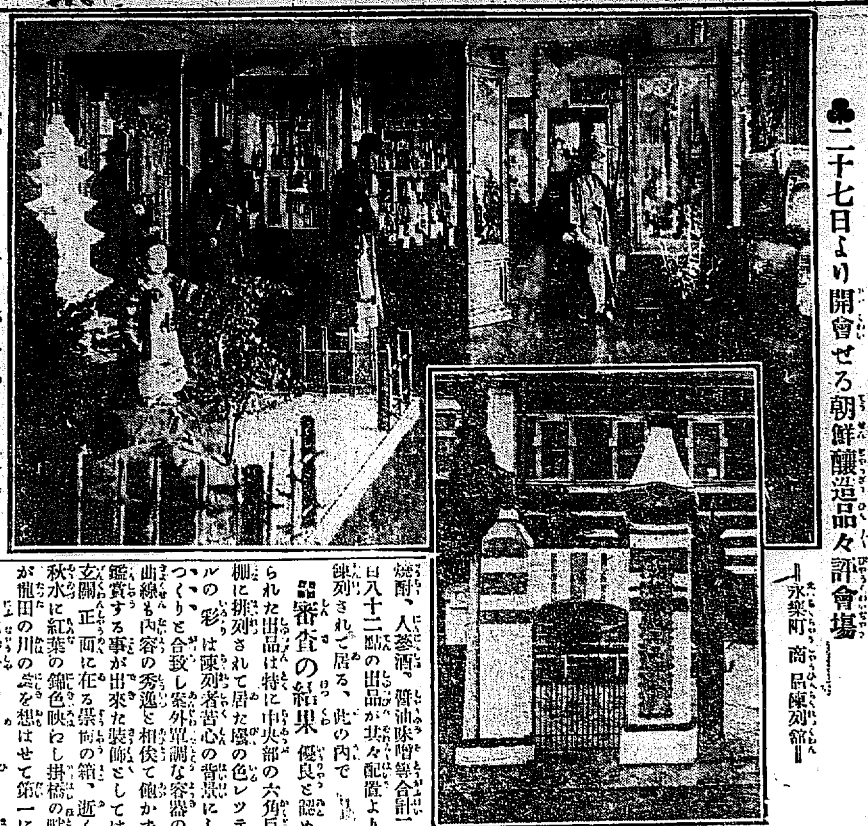
○平和は、敵味方共に、愛好すと雖も、姑息の講和は、却つて禍根を、子孫に遺すべきは勿論にして、英首相の、見家の忍び難き處也。英首相の依然として、講和難を見越せるは、洵に當然にして、此指唱は、與國を結束するの、威力あるべし。

○鹿島丸、大西洋上敵潜艇の包圍中に、縱橫奮戰、美事に虎口を脫す。船員の沈著、勇敢、航海史上の美談として、海國男子の面目を、發揮して餘あり。近時の痛快事たるを失はず。

○文展の審査は、何の時も、紛々なる苦情を脫せず。今回も亦、審査員の奇ッ怪なる、醜事ありと傳へらる。其の起元は何時も、東京派と、京都派の辭見合也。東西分立、堂々覇を天下に、爭ふては如何。

列車發著表 [illegible]

♣二十七日より開會せる朝鮮釀造品々評會場 ―永樂町商品陳列館―



盛なる褒賞授與式
全鮮釀造品々評會―總督の告辭

全鮮釀造品々評會は既記の如く二十七日より商品陳列館樓上に開催せられ其の褒賞授與式は同日午前十一時より總督府第二會議室に於て擧行されたり、此の日夜來の曇天途に雨を見るに至りしも、受賞者等は早朝より詰所に滿ち式場の準備亦た夙に成りて正面の壇上を飾れる

♣幾株の菊花 敷き廻らせる白布に映ねて馥郁たる香氣衣袂を染む、軈て定刻に至るや松永京畿道長官、鈴木度支部長官、豊永審査長、久水外事課長、荻田總務局長以下關係各課長事務官、審査官、新聞記者、道廳吏員等相次いで入場し、受賞者亦た列を正して所定の場所に著ば長谷川總督は齋藤副官、遠藤、神田兩秘書官を隨へ小原農商工部長官の案内にて爽颯たる風姿を場內に現はし一同に會釋を與へつゝ授賞者席と對せる右方の

♣總督席に倚る 斯くて式は小原農商工部長官の挨拶に始まり、豊永審査長審査の結果を報告せる後齋藤榮作氏以下受賞者に對して夫れ〲褒賞の授與あり、右了るや長谷川總督卽ち立ちて別項記載の如く一場の告辭を與へ、受賞者總代中井忠三氏答辭を朗讀して小原農商工部長官の挨拶に依り茲に目出度く式を閉ぢ總督以下順次退場したるが受賞者は各自褒狀を手にして嬉々一團となりて品評會場商品陳列館に向へり

□聖上行幸

天皇陛下には二十七日午前九時半上野公園文部省展覽會、日本美術協會、化學工業博覽會に行幸遊ばされ午後二時御機嫌麗はしく御還幸遊ばされたり(東京特電)

▼開會第一日の賑ひ
裝はれた評品會陳列場の光景

廿七日から商品陳列館で釀造品々評會が開催された午前中に覗いて見ると昨日迄館內には赤い色彩、青い色彩の調度、布帛が縱横に流れ其間に木工品や、係員の忙し相に馳せ廻つてゐた同館樓上も今は整然と排列された陳列箱、背景の色、棚の組立等寸隙もない設備の中に各地方の出品に係る清酒、果實酒、味淋、燒酎、人參酒、醬油味噌等合計二百八十二點の出品が其々配置より陳列されて居る、此の內で

■審査の結果 優良と認められた出品は特に中央部の六角戶棚に排列されて居た樣の色レッテルの彩は陳列者苦心の背景にしつくりと合致し案外單調な容器の曲線も內容の秀逸と相俟て飽かず鑑賞する事が出來た裝飾としては玄關正面に在る崇高の箱、逝く秋水に紅葉の錦色映ねし拱橋の畔が龍田の川の姿を想はせて第一に

■入場者の目 を引く、又場には中央にパゴダ公園に形取た小庭が出來て居る外所々に香り高い菊花の据置いてある事等は一般入場者の感興を唆つて居る丁度開會第一日が雨天にも拘はらず各出品關係者並に當業者の群衆が續々と入場して品定めが盛んだ午頃にもなると總督府の賞狀授與式に名譽を勝ち得た

■得意の色を 會場の眞中に表はした人々も漸次に增して相當の賑はひを呈して居た

◉重要問題協議

…軍事の首腦會議を開いて…せるが寺內元帥のみは午後一時退出せるも他の將星は尙ほ引續き凝議中なり(東京二十七日特電)

◉神戶に 有菌鼠

二十二日神戶に於て發見されたる有菌鼠は檢鏡の結果眞正ペスト菌と決定せり系統は不明也(大阪特電)

◉南畫界耆宿 高森碎巖翁

南畫界の耆宿高森碎巖翁は二十五日午後十時半逝去せり(東京特電)

◉軸物數百圓を 食つた黑鼠

熊本縣鹿本郡山鹿町生れ京城新町居住の古物商浦田伊助(三〇)は本年六月以降に龍山元町一丁目永田、京城大和町一丁目大館、黃金町三丁目津田、初音町石川、永樂町一丁目佐々野、龍山榮町栗田、明治町一丁目石濱、黃金町二丁目吉谷、明治町二丁目濱田、南山町三丁目今井、旭町二丁目高橋、苑南洞黑田、花園町永井等より書畫の軸物十餘幅、彫刻物、裝飾用銀側懷中時計等價格數百圓のものを詐取橫領し石川縣河北郡高松村生れ京城水下町居住天野茂太郎(三四)を手先に使ひて各所の質屋に僞名入質せしめたること發覺し兩名共本町警察署に引致取調べの上檢事局へ送らる

◉參加申込み多し
市民奉祝提灯行列の前景氣

天長節市民奉祝會の大提灯行列は既記の如く各所にては夫々準備に怠なく且つ

▲種々の催物 をもなさんと各町にては寄り〱打ち合せ中なるが既に行列參加の確定せしものは東亞煙草會社の一千人瓦斯電氣會社の二百人京城日報每日申報社の二百人太平通りの五百人及び朝鮮煙草會社を始め其他の會社工場等にても何れも協議中なれば行列人員も確定すべし又た

▲鮮人側より も參加申込頗る多ければ內地人側にても振つて參加すべく各町とも熱心協議中なり提灯行列道順は左の如し因に實行委員內地人側三名の他『朝鮮新聞社』も委員に選定されたり

奉祝大提灯行列順序

十月卅一日午後六時景福宮前集合午後六時半景福宮前出發新橋町より大漢門前を經て南大門通に出て左折して朝鮮銀行前に至り本町に入り電氣瓦斯會社角を右折し南山町を上り倭城臺町京城婦人會前を左折し政務總監官邸前を經て總督官邸門前に至り『萬歲』夫れより日出町に出で小學校角より右折し大和町に至り政務總監邸前を經大和町より本町五丁目電車終點に出で左折し東大門通に至り更に左折し東大門通を鍾路に向ひ昌德宮前(東大門通より入口)にて『萬歲』夫より鍾路に至り左折して南大門通を黃金町一丁目(黃金町電車終點)に出て更ら右折し黃金町を太平通りに至り京城日報社前廣場にて『陛下萬歲』を三唱して解散

◉高橋男 藏品入札會

高橋男藏品入札會は二十六日開札總額五十五萬圓の賣上ありしが一萬圓以上の落札左の如し(東京特電)

- 光長地獄草紙卷一 一萬二千八百圓
- 平目地六玉川蒔繪書棚 一萬七千圓
- 青貝金山寺二枚折 一萬七千圓
- 琅玕鳳凰刻硯 三萬三千圓
- 光長齋宮女御 二萬三千圓
- 將軍木蒔繪文臺硯箱 二萬五千圓
- 信實紀貫之歌仙 一萬一千圓
- 白在牡丹獅子遊環大香爐 二萬圓

♣この日曜は 紅葉の見頃 郊外へ、郊外へ

漢城の秋漸く闌けて遊子の意動く事薦りである、金風時に衣袂を冷かに吹くも猶寒さには間のある二十八日の日曜頃は郊外に杖を曳くに最もいゝ時であらう、足一たび四門の外に出ると四方の山々は今紅葉の眞ッ盛りである、北岳の諸峯は言はずもがな、石坡亭、京城植物園、奬忠壇、南山漢陽公園あたり指を屈してくれば到るところ

◉淀川沿岸住民の大困窮

大阪淀川沿岸の水災地は二十六日又もや四度目の浸水を被り住民は困窮の極に達し居れり(大阪特電)

◉天長節祝賀會

朝鮮人側を以て組織せる大正親睦會にては天長節同日當日中學校横廣場に於て祝賀會を開催し餘興撲擬店等の催しある由なるが內地人の參加を歡迎し加入希望者は會費五十錢を添へ該會に申込むべしと

◉偕行社劍道大會

朝鮮駐劄軍司令部主催にて二十七日午後一時より龍山偕行社に於て竹內中佐、千輪大尉監督の下に軍司令部、師團司令部法官部步兵騎兵衞戍病院同監獄倉庫等の各兵科及び憲兵參加し三十五組の劍道試合あり

◉京城觀世會秋季大會

京城觀世流謠曲同好者の秋季素謠大會は十一月四日午前正十時より本町松翠樓にて開催する筈なるが番組は左の如く一般の來會を歡迎する由

龍田 先番(駒(高木秀彥)▲翁(金田玉翠、末松大和)▲芭蕉(洗劔隱會)▲百合(大和田司、此縣惣湖)▲松風(宮井眞武、加藤長助、河中竹瑰)▲三井寺(金東完、淸水榮太郞、丹羽淸彥、上坐六)▲唐船(鹽醉會)▲融(高橋久矢村健太郞)▲夜討曾我(鄕醉會) 附祝言

◉昌慶苑の演奏

二十八日の日曜日午後一時より同四時まで昌慶苑にて洋樂演奏あり曲目左の如し

行進曲(大津繪)未詳▲序曲(惡漢の魁首チャムバベロ)ヘロルト作▲小舞曲(酒、女、歌)スツラウス作▲歌劇曲(マルタ娘)フロトウ作▲カテリー曲(幻想)ゴデリ作▲雜曲(陸軍の醉說)アセルが作

◉仁川會の延期

二十八日開催の筈なりし仁川會は雨天の爲め延期すべしと

◉秋高し 北鮮の野
壯快な機動演習

北鮮會寧を中心とせる秋季機動演習より歸任せる第十九師團附山崎參謀は曰く

北鮮の秋季機動演習は步兵第三十七旅團及び特科隊の主力を合して廣袤六七十方里に涉る會寧行營上倉坪小白嶺等の地域に於て施行した同地方は龍山以南の地とは地勢に於て風物に於て

♣大いに趣きを異 にし其峻大にして大陸的なる、山野樹木無くして實戰的演習に適せるなど內地にも是れ以上の演習地を求むる事の出來ない程適當な土地であつたから從つて演習上受くる處の効果も頗る多かつた、演習に參加した各隊は十月十四日步兵第七十七聯隊を基幹とした者が上倉坪に同七十四聯隊を基幹とした者が倉坪に集合し附後十五、十六、十七、十八の四日間に涉り行營、上小白嶺、司乙嶺、山城山等で

♣攻擊防禦遭遇戰 の演習を旋行追擊及び夜間行動等の演習を旋行したが此の演習中特に統監部に於て注意し且つ力を竭したのは近時の戰鬪の性質に稽へて敵と近く相對する場合に於ける夜間の行動偵察警戒等で是れが爲めに全部隊は連日安眠の遑無く晝夜兼行で攻防戰に努めた、演習地は人も知る北鮮の野、日中は戎衣の袖を拂ふ風も冷しいが夜に入ると

♣零度以下の寒さ 身に適つて塹壕內に作業する兵などは隨分困難した模樣であつた。十九日は會寧附近で陣地攻防演習を行つたが此の演習は日露戰爭以來大いに必要を認められ歐洲戰爭に依つて更らに適切を加へた者で堅固なる敵陣地を如何にして攻擊し敵の堅固なる攻擊を如何にして防禦するかを研究するのであつた余が部隊は步兵八個中隊砲兵二個中隊工兵三個中隊で十九日より二十二日に涉り

♣激烈なる戰鬪を 繼續したが其効果は頗る大で恰も歐洲戰に於ける塹壕戰や陣地の襲擊を眼のあたりに見るが如き悲壯淋漓な光景であつた

讀者文藝(一等に五十錢二等以下に…)

△俗謠『鏡』

○化粧壞りをこぼした水が月に凍るよ鏡ほど(一等) 龍山 秀雨生
▲顏もありそな紅葉の背な月の鏡はなぜくもる 龍山 岡本小草
▲我れと我が顏睨む鏡は悶ゆ身だしなみ 龍山 俠雨
▲鏡みそよ〱秋風吹いて破れし白髮な見る 仁川 耶蘇花翁
▲ある御手洗笑顏が二つ仲良參りの水鏡 京城 一葉
▲可愛妹が初丸まげを合す鏡のあどけなさ 京城 竹露
▲わしの眼鏡で見込んだ女今じや口惜しい人の妻 水原 三ノ字
▲鏡見る〱陰な掛けてぼけつ提げてる新世帶 水原 池田酒升
▲逢いよな顏いやうなうつる鏡の高島田 利川 森子

燈とし頃

藝者午餐會といふのが出來た事は二三日前の本欄に紹介したが▲この會の出來た動機といふのは或る二三の粹人が會したとき吾々は平素客として藝者と同席する事が多く彼等に窮屈な思ひをさせてゐるから一つ慰勞の意味で彼等と一緒に同じ會費を出し合つて打解けて飯でも喫はうではないか▲といふのが始まりで政勇の送別會勇々カフッエパコダに寄つたが藝者連中いづれも大滿足で廿五日その第一回を開いた▲その席上で會の性質上常にお客として接してゐる人達が多く出席しては若い女などは自然遠慮勝になり大な口を開いて御飯を喰べるわけにも行かぬといふので發起人のほかには記名投票で過日パコダに集まつた藝者全部が認めた人以外には一切入會を避ける事▲それから毎月の例會の席では戶籍面の本名で應對する事とし誤まつて姐さんと呼びかけた時は五錢、藝名を言つた時は二十錢の罰金を取る事などを決議した

謹告

都合上 云々に就て

この程病氣の爲め永々の御愛顧を蒙り居りしが都合上云々と噂致し候ため或は廢業閉店等の爲めには之れなくやとの御心配下され候向きも御座候ひしが當店の都合にはさやうの都合これなく全く薄利多賣をなし一層勉勵致すべき爲めの都合に有之候間幸ひに御安心下され、猶々御引立の程奉願上候 敬白

十月下旬

京城本町 あづまや 店主 堀內滿輔

▲二十七日後場 各地共に電報未著にして當地は先十九圓七と三錢高に寄付忽ち十錢…

中限二圓十九圓三錢三節三十錢 先限四十錢 …

前場 寄付 止メ 高値 安値 出來

商況

鮮滿現物特電

二十七日出來値: 京城電氣、朝鮮銀行、朝鮮瓦斯、滿洲鐵道 — [illegible]

東京公債直取引

二十七日出來値: 五分利特別 九六、二〇; 五分利 八二、一〇; 四分 八一、〇〇; 四分 九六、〇〇 [values partly illegible]

深川任米特電

二十七日現米: 鮮米 一三、八〇; 內地米 一三、六〇; 臺灣米 [illegible]

東京期米特電

二十七日前場: 十二月限 六九八; 寄付 [illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

二十七日前場 [illegible]

雜報

◉三品下押す 米綿一圓五錢安 綿布は三銘柄

大阪三品の材料にて當限二百三十六圓五十錢、先限四十五錢にて前日より不勞の成行きとなり

八圓三十錢 …

◉諸株反動高

二十五日に於ける東京株式市場の成行は前日より二百圓十圓方の利乘り手に漸次不穩の成行きは此迄手に定期も立會を休止したるも大阪又午前取引を中止して跡郵船ザキの二三十九圓にして附札を揭げられしのみに了れり…

諸株一齊に反 … 親一圓新二十一圓 … 十五圓四十錢方 … 大阪株又二十二 …

◉製茶据物高

上景氣の變化に連れて一般不振なりしと雖も番茶に至つては依然反對に强調な辿り靜岡の如きは前報後更に高模樣を報じ來れるが其原因は一に減收にあるも其他近來腦病藥品たる

茶素製造の發展

しつゝある事と最近又傳茶の露國輸出行はれ之が原料として据物

此の方面に吸收

されつゝある事一因なりと

◉洋蠟値上げ 一斤に付一錢方の値上

洋蠟は近來鮮內販路に於ける社製品排底にて近來鮮內販路ある折柄にて原料高騰の結果同會社の製品獨占の觀ある折柄にて協定容易に纏りしもの如く今回一斤に付一錢方の値上げをなし四錢五厘となせり

京城正米

南大門の廻穀

實物薄の折柄朝來の雨天は更に今後の出廻りを懸念せしめつゝあるが氣配は强含みながら持合なり

平澤玄米… 烏山玄米… 水原玄米… 仁川粳… 東豆…

◉製茶据物高 / 上の騰貴を告げたり 二十丁方以

氣配は益强硬

◉海苔益强硬

園海苔の被害を受 四百餘萬枚

◉鐵材更に不勢 又々十錢安 意氣甚だ銷沈

五十錢方の不落 足は鈍止 は鑵高といふ一派に幾分下

◉機械油暴落 內地マシン油は八圓臺に 賣物豐富

圓九十錢方の大跳返し(臨時休會を報せり東京は今前場…)

讀者文藝課題及び募集規定

天氣 小雨後晴れ

釜山穀物(廿六日)

▲正米弱(保合) 出廻品依然…

▲釜山水產市場(廿六日)

△合計一千六百七十三圓四十三錢

仁川期米

二十七日前場(强硬)

大阪天候曇天前寄二十三圓十六錢と昨止より…

十三錢高の入電に節十一錢三節八錢と安入電…

十五錢と跳ね返し入 大阪六節…

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町 仲買店 電話長三六七・三六九

市場雜觀

▲昨後場保合に終りたるが朝來久々振りの降雨となりたり▲大阪の上寄を受けたるも跡直に安入電に十八圓入十九錢と始じめたるが手仕舞買に新規買に買廻り九十四錢と上伸し…

仁川米豆取引所仲買人 仲買店 主任 西川平治郎 電話一五八番 自宅一五九番 七〇番

國を通じて二百二十七萬餘石

稻作の被害は全

正米頭重

七萬餘石

如上二大懸案の解決に依り硬軟の腰入深甚

白米標準値

十三圓五十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十三錢五厘; 二等白米 二十三錢

仁川米豆取引所仲買人 大五仲買店 店主 豬飼政太郎

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 仲買店 電話長八〇五

▲大邱新大豆 十三圓七八十錢
▲朝鮮一等白米 廿四圓七八十錢
▲同(營用) 二十一圓
▲釜山新大豆 十三圓六十錢
▲同 十三圓七十錢
▲倭館新大豆 十三圓八十錢

仁川米豆取引所

廿七日の十二月限

前場: 寄付 十八円八十九錢; 止メ 十八円九十八錢; 高値 十八円九十九錢; 安値 十八円八十九錢; 出來高 三萬九千五百石

賣買取組高 十一月限 三千九百石; 十二月限 二萬七千百石; 一月限 八千九百石

煎殆ど一順

下關相場

△朝日鮮米は先づ保合、依然買氣…

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 今村覺次郎 電話長三七番

二十七日午前八時より參謀本部にて山縣、[illegible]村、奥、寺内の各元帥及び上原參謀總長、大島陸相參集重要事項に就き鳩首凝議し午餐を共に[illegible]

秋の石坡亭

素眸星

『オイ君往かないか?』

『どちらへ』

『どこでも好いからまあ僕に追いて來給へ』といふ社長の御命令。丁度書掛けた原稿を片付けて降りて往つて見ると中報の沈君も御同行の御樣子。一體何處へ連れて往くのだらうと思つて。

『社長、行先きは一體何處でございますね?』と聞くと、社長は澄ました顏をして

『ウム、ここから五里ばかり離れてゐるところだ』と御宣託。五里とは聊さか驚かざるを得なかつた。

『徒歩でですか?』

『勿論徒歩さ!』

もう時間は二時だのに、五里も歩ける筈がない。私は内心『社長又例のオドカシだな、ナーニその邊だらう』と高を括つて、

『エ、大丈夫でございます』と答へた。すると社長は笑ひながら

『君の大丈夫といふのが何だか少し危いね。半分も往かない内にアイゴーを云ひはしないだらうか……』

三人は色々な雜談をしながら景福宮の長い〳〵宮城に沿ふて彰義門の坂路を喘ぎ〳〵登つて往つた。振返つて京城全景を瞰下すと、澄切つた高い秋の空の下に緑りの南山を背景にした奇麗な市街が靜かに立列んでゐる。そこには官衙や會社の高い屋根も聳へ、朝鮮家屋の低い家も連つてゐる、そしてところ〳〵に緑りの茂みも見へる。遠く德壽宮や眼の下に景福宮の古代建築は古色蒼然として立竦んで如何にも京都の樣な感じがする。

三人は更に彰義門外の下り坂を轉げる樣に下りて往つて暫らく歩行を續けた。

私は少々不安を感じて來た。本當に何處へ往くのだらう。これは北漢山の方に往く道だが、もしや社長物好きにも本當に北漢にでも登るんぢやないか。そして私がさき社門を出る時多分近所だらうと高を括つたのも全く自分が自分の罠に罹つた樣なもので實際遠路を往かなくてはならないかと思ふと急に情けなくなつてもう、十分も歩いたら危くアイゴーをいふ處だつたが幸ひにも社長の足は李埈公の別莊である石坡亭に向つた。

ア、コヽか!と思ふと今までの心配も全く取越苦勞に過ぎなかつた

『社長、あまり遲くならない内に早く參りませう。何所だか知らないけれどもこれから五里もあるといふ所をこんなに寄路して同日の内に往かれしやないぢやありませんか?』と強がつて見せた。すると社長は笑ひながら

『今更そんな強がりを云はなくても好いよ』(未完)

北鮮明太漁況

朝鮮水產組合に達せし北鮮に於ける明太魚漁業の狀況を聞くに昨年は本月二十日初漁ありしに本年は既に去る十日頃より漁獲あり淸津以南一帶の沿海にては昨今盛んに漁獲しつゝあるが出漁船數は現今五百餘隻にして一隻の漁船多きは一駄半少なきも一駄の漁獲あり相場は昨年一駄十七八圓なりしもの本年二十圓前後に取引せられ居れば咸鏡北道のみにても終漁期迄には五十萬圓以上に昇るべき豫測を爲し居れりと

空巣狙ひ出沒

近來大邱市内に於て空巣狙ひ出沒し被害頻々として傳へられつゝありしを以て大邱警察署に於ては日夜手配をなし檢擧に努め居たるところ去る二十一日夜九時頃市内大和町立島質店に怪しの入質者來れりとの通知に接し直ちに引致し取調べたるに案に違はず窃盜の事實自狀に及べり此奴原籍德島縣板野郡撫養町才田生れ當時大邱上町竹内梅吉方同居左官職三石藤一郎(三一)と稱する前科二犯の男にして過般來大邱市内に於ても五六軒に忍び入り窃盜を働き居れりと而して同人は餘罪尠からざる見込にて目下嚴重取調中

本年の柑橘界

本年の柑橘界は本場たる紀州及び靜岡の外谷地共に昨冬よりの近來稀有なる嚴寒に接したる結果一般に不作を告げ品薄にて紀州の如きは半作の有樣なるが品質に於ては概して良好大玉にして釜山市場の初荷としては廣島縣の大町產蜜柑の入船あり一甲四圓内外の初手合にて出來たるが昨年に比すれば約一圓以上の聲價なれ共決して高値にはあらず作柄や且運賃の高率より打算すれば目下の取引は至當とすべしと云ふ尚紀州產品は本月末より上旬を以て初荷入船すべし

嬰兒を壓殺す

大邱市東内千代田町李文益の妻秋福蓮(二〇)は去る八月二十三日女兒を分娩したるも裕布團にて壓殺し死體は同鳳山町千伊をして人知れず何處にか埋葬せしめたる事發覺し目下大邱警察署に引致取調中

留守中に八圓

福岡縣小倉市東鍛冶町當時釜山富平町四丁目坂田俊郎妻ぬい(三二)は棄て懇意にせる同町一丁目梶村はな方へ去る十八日遊びに往きしにはな外出中なりも水屋の中に金八圓入の蟇口あるを見付けぬいは窃取し歸宅したるを二十二日釜山署の上田巡査に發見せられ同署に引致取調べ中なりと

◉高武事務官夫人入院 總督府總務課高武事務官夫人は產後に腎臟病を發生し二十七日總督府醫院に入院せる由

神社と寺院

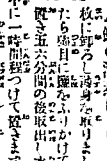
○メソヂスト教會日曜集會(旭町二丁目)廿八日午前八時四十五分日曜學校同十時禮拜說教『心靈の新裝』[illegible]牧師、午後八時『ルーテルの性格』同牧師

○日本組合京城基督教會(南米倉町)十月廿八日午前九時日曜學校及び禮拜說教『基督の富』山本牧師

○京城基督教青年會(南大門通)二十八日午後三時よりバイブルクラス開講

○京城日本基督教會(長谷川町)廿八日午前九時日曜學校午前十時『永遠の業』[illegible]牧師午後七時半『唯信ぜよ』金子牧師

○曹洞宗別院(若草町)廿八日午前九時半より讀經、說教、會午後七時半より開山忌說教あり



▲鯛の酒蒸し 鯛を三枚に卸ろし身を取りまして鹽をふりかけて置き五六分間の後取出し水氣を切つて酒の中に一時間程つけて置きますそれから取り出して蒸籠に竹皮を敷き込んだ上に置き四五分間蒸しますこの位たちますとよい加減に蒸せますから俎板の上に取り出し適宜の大きさに切り大根おろしを添へ左に記す付け汁をつけて食べます付け汁は先づ濃い鰹節煮出汁五勺に煮切味淋(一度沸き立たせて酒氣をぬいたもの)二勺醤油三勺の割に加へ一度沸騰させ後冷まして用ひるのであります

◉壽座の新時代劇

壽座は二十五日から新時代劇と稱する愛澤正義一行で開場、最初二日間の第一回狂言は小島孤舟原作の『美術家』。新派が凋落したのイヤ復活するのと言つても世の中は廣い、ので、彼等を取卷いてそれ相當の理解を有つてその藝術に對する看客も相變らず可なりゐる。二十六日の夜の壽座の看客——特等席に納まり返つて例の新派特有の黄色い聲調に [illegible] 拍手を贈る贔屓や、思ひ入れ澤山な、無闇に [illegible] てゐるを [illegible] が自然で [illegible] な仕科を『ヨー』[illegible] 例へ冷かし半分にも、[illegible] 然う悲觀したものでもない。自分達に [illegible] した脚本を撰んで上演して行けば一部の看客を永久に引きつけておく事は敢へて [illegible] ない。何も强いて不斷れ?な新らしいものを出す必要はない。そこで新時代劇なんぞと新しいさうな看板を掲げてくるこさも無からう、になろ。しかしそんなことはどうでもいゝ。『美術家』といふ脚作は見たことがないし、この夜全部を通して惡くなかつたので、筋はよく呑み込めなかつたが、四幕目の門脇伯爵邸の西洋間の物が面白く見られた。[illegible](せいたらう)

京釜線藤栗毛

無錢宿泊監獄行の事

歐洲戰爭の生んだ副景物として到る處に喜劇悲劇の幕は切つて落される、お多分に洩れぬ茲朝鮮も近頃物價騰貴が原因となつて下層中層社會には生活難と云ふ難有くない風が吹き廻つて來たと思し召せ、それかあらぬか近頃在鮮の内地人が喰ふに喰はれぬ悲しさに尻に帆かけて内地へ内地へと退却するもある相な、甚しいのになると内地へ歸る旅費がない爲めに遞頭の小春日和を幸ひとしてポカリ〳〵と京釜線の鐵道を傳ふて膝栗毛を試みるものも多いと云ふ噂であるが、茲にも其の一人

▲原籍は福島縣生れの松本榮一郎(三七)と云ふ働らき盛りの男一匹、ツイ近頃まで京城の去る病院の小使とかを勤めて居たのであつたが、收入は尠し物價は高し可愛い嬶子のある事とてやなし、茲で暮さねでも何處にも日は照るものと承知したかどうかは保證の限りでないが、骨身を碎いて働かいでもの事と、アタラの男が無分別を起し、内地に一先づ引き揚げんものと決心はしたものゝ差當つて旅費がないので

▲膝栗毛に鞭つて釜山まで往つたら亦何とか好い工夫もあらうと高を括つて長亭長驛野に寢ね山に宿りを重ねて鳥致院まで來たが、不圖思ひ出すと、以前京城で馴染を重ねた女が忠北の淸州に居る事を思ひ出し、奴に逢つて事情を咄したら、釜山までは懸かせめて下の關迄位の旅費は才覺して呉れるだらうとの一縷の望を抱いてスコタラと五里の道をおひろいで淸州に尋ねて往つて扨て其の女に逢ふて見たら、お金のある時はお客樣、お金のない時は赤の他人

▲旅費の無心などは眞平御免と鐵もほろゝの挨拶に、喰ふや喰はずの淸州訪問が無駄となり腹も立てば悔やしくもある悲しくもあれども致し方なく又鳥致院に立ち戻りてブラリ〳〵すき腹を抱へて沃川まで辿り着いたのは茲七八日も前であつた相だ、然し面して生きて居りながら飮まず喰はずに幾山川を踏破して來た悲しさには一歩も前に進む事も出來なかつた、懷中は見れば錢一文もないので進退愈々窮まつた樣な次第で、逐い惡るい事とは知り乍ら男一匹野垂れ死するも

▲意氣地がないと太きく度胸を据へて尋常のお客樣然として沃川驛前の淵上旅館に泊り込んで、鱈腹詰込んで其の夜は久しぶりに溫かい蒲團の下に寢た翌朝になると出發せねばならず、出發するとすれば宿泊料を拂はねばならぬと右つ左いつ思案をして見たが盜張り好い智惠も出ぬので終日喰ふては寢ね起きては喰ふて一儘よ大膽今一日お輿を据ゑてと寸延ひれば尺とやらの兵法を活用したが今一歩膽太き處を見せる必要があると思ふたので其の翌夜は一寸料理屋に往つて遊んで來るとの其の座を胡魔化して

▲逃亡を企てた けれども旅館も去るものその手に乘らず宿泊料の催促をして見ると果して文なしの旅鳥で釧つたので直ちに憲兵分隊に突き出された、突き出された以上は儘よ成る樣にしかならないのでお定りの道行き公州地方法院大田支廳に廻はされて無錢宿泊の罪によつて懲役二箇月を申渡された、申渡されてもこの男平氣なもので、別に不服の申立てをするでもなかつたが服役すべき監獄が京城のツイお隣の永登浦と聞いて顏が青くなり懲役に行くのは二月か五月でも不服はありませんが

▲折角千辛萬苦して幾山川を跋渉して沃川まで出て來たのを亦元の京城近くに送らるのは頗る非常の殘念であるから、公州か大田方の監獄に入れて下さいと手を合せて拜んで見ても遂に追つ付かず、今度は大に度胸を据ゑ直して永登浦へと送られたとは少々念の入り過ぎた膝栗毛なりけり

演藝案内

壽座

京城壽町 電話五七八番 十月二十五日より(初日)東京新時代劇愛澤正義一行 [illegible]

有樂館

活動寫眞常設館 [illegible]

大正館

櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花館

京城明治町 電話二六〇 [illegible] 一二名人會 ▲邑井貞吉 ▲大島白鶴 [illegible]

壽館

京城本町 電話一〇五〇 二十七日二十八日二十九日三日間 山村連秋季溫習會番組 [illegible]

黄金館

電話二三六三 二六六七 十月二十七日より ▲探偵活劇怪赤塔(全三卷) [illegible]

一代に百萬の富を作る決して難事に非ず

予が現に實行しつゝある利殖法

何人にも容易に實行し得る方法

株式會社富强世界社京城支社取締役 大迫利亮

▼金は誰にも出來る

世の多くの人は金は出來ないものであると思つて居る、一代にして巨萬の富を蓄積すると云ふが如きは、明治維新の時のやうな世の中の秩序がキチンとして居ない時の事であつて今日のやうに社會の組織が萬事組織立つて仕舞つては、無一文から俄かに成金となるやうな事は到底出來得るものではない、況んや一代にして一百萬圓の富が得られると云ふやうな事は全く空想である。空理空論であると一笑に附する人が多いであらう。併し金は作らうと思へば必ず出來るのである一代に一百萬圓の富を得る事は決して難事でない、難しいと思ふ人は來つて先づ予が如何なる利殖法を實行しつゝあるかを調べて貰ひたい。

▼成功致富の實例多し

昨年十月、時事新報の調査掲載したる五十萬圓以上の全國資產家を見ると、現在我が帝國に於ける五十萬圓以上の資產家は合計二千二百〇一人であつて、之れを前回の調査即ち明治四十四年七月の調査に比較すると、其の數に於て實に一千百七十六人を增して居るツマリ此の五年間に於て五十萬圓以上の資產家が一千百餘人增加したのである。而して此の事實は取りも直さず、社會の秩序が整然とした現代であつても、尚且つ金は出來るものであると云ふことを證明して居るのである。

▼金の出來ぬ理由なし

然るに金が出來ないと云ふのはツマリ苦心が足りないのであるか、信念が無いのである、予は此點に鑑みて多年苦心の結果、先づ富を作らんと欲するもの、第一條件が金利の觀念を深く頭にすることを深く感じ日夜專念、約十年の長きを金利の研究に費し、自ら又自己の發案の利殖法を實行して二ヶ年足らずの間に約五萬の富を作り、又更に之を關係の會社商店に應用して良好なる成績を舉るに至つて金利の實に侮る可らざる事を發見したのである

▼天下の富豪金利を恐る

三井、三菱、住友の如き富豪であつても、假りに一億圓の借金があつて其の借金に年二割の利息が付いて行つたと假定すると、其の借金は五十一年目に積り、實に一億一千萬圓の巨額に上つて、三井、三菱の富豪も破產の運命に陷らねばならぬのである。故に之を反對に見て茲に一萬圓の財產を有すると其の人は五十一年の後に三井三菱を凌駕する一億一千萬圓の大資產家となり得る筈である。勿論此の論法は通用しない、即ち茲に先づ資金百圓の利殖法を講じて、更に之を後に其の資金百圓を作る方法を講じ、無一文の裸一貫から巨萬の富を作り出す實行方法を述べる事とします。

▼百圓の資本で百萬圓

茲に一百圓の資金を持つて居る人があつて其の人が其の一百圓を年二割の金利に廻したと假定すると一百圓の元金は五十一年目に元利合計金一百十萬圓となり、一百圓の元金を年三割に廻せば廿八年目に一百六萬圓、年四割に廻せば廿六年目に一百廿三萬圓、年五割に廻せば廿三年目に一百二萬圓となるのであるから若しも百圓の金を以上の金利に廻す事が不可能でないとすると一百圓の資金を有して居る人は誰しも一代に一百萬圓の資產家たり得ると云ふことになる唯問題は果して二割三割乃至五割の金利を廻し得るか否かにあるが予は必ず以上の金利に廻し得るものと信じ、且つ之れを實行しつゝある一人であるから、之れから順次自己の經驗に基く金利運用法を說く事としよう。

▼一日五厘儲ければ宜し

一百萬圓と云へば大金であるが、所謂塵積つて山となるの道理に洩れず、細かい預金から出發せんとするには先づ細かな金利の運用法が吞み込めなければならない、此信念を作り得ぬ人は到底金は出來ないのである。此の理窟此の計算の分らぬ人には到底金は出來ないのである。即ち其利殖運用法の一端を茲に公にするが、十圓の資本で一日五厘五毛宛儲けて行けば、一百圓の元金は五十一年目に一百十萬圓となるのである。十圓の元金で毎日八厘二毛宛儲けて行けば二十八年目に一百〇六萬圓となるのである、十圓の元金で一日一錢一厘宛儲けて行けば二十六年目に一百二十三萬圓となり又十圓の元金で日に一錢三厘七毛宛儲けて行けば二十三年目に一百十二萬圓となるのである。何と恐ろしいものではあるまい乎。

▼決して實行難に非ず

その實際に調査せる所に依ると、世人は生活の爲めに居るの常に資本利廻り十割以上の例に乏しくない。例へば世

に百圓位の資本を以て一つの營業を始め其の營業に依つて一家四五人の家族が生活して行くと云ふやうな實例はいくらもある。四五人の家族が生活するには、どんな片田舍でも一ヶ月十圓内外の金が必要であるし、して見ると一ヶ年百圓以上の利益であつて即ち其の對資本利廻りは年十割以上である、故に、人は生活に迫はるゝが如き眞面目を以て金利の運用法を考へるならば其の利殖は決して困難でないのである。

▼貧乏人續々奮起す

然るに、世の多くの人が、一代に富を作るの望みなしと悲觀して遂に自暴自棄に陷るが如きは誠に歎ずべき次第である。予は年來此の利殖法を研究し、且つ實行し來つたのであるが、之れを公にするを秘せず唯、知友知己の間にのみ說き稀には失意の境遇に陷りて努力なきを他ふしのに說き來つたに過ぎない。併し予の此の計算法に勇氣を得て俄かに發奮努力するに至つた人も尠くなく、昨日、失望に泣きたる青年も今日は光明ありて希望に滿ち生活に蘇生するやうな實例も尠くなかつたので、茲に予が年來苦心せる利殖法を公開するに至つた次第である。

▼貯蓄投資講義錄の發行

今や、我が帝國は歐洲戰後の各列强と伍して如何なる政策を樹立し、其の國是を如何にす可きかに就て、最も愼重に考へねばならぬ時機に到達して來た、併し、其の國是を確立國策を云ふも要するに、先づ金を作ると云ふ點に歸着すると思ふ。金が無くては國も榮えねばならない、即ち予は茲に深く決する所あり今回本社内に『貯蓄投資研究會』なるものを設け、『貯蓄投資講義錄』を發行し、人々をして貯蓄の實行をなさしむるのみならず、更に其の貯蓄したる資金を最も確實に、有利に運用利殖して先づ人々をして五萬圓なり、十萬圓なりの基礎的財產を作らしめ、更に進んでは一百萬圓の富を成さしめんと努力する次第である

▼空論に非ず實際的

既に、金をためさせる爲めの講義錄であるが故に、勿論、空想めいた言葉は一字もない、該講は極めて平易で誰にでも讀め、且つ一々實際の生活に當てはまるやうに出來て居る故如何なる職業の人でも本講義錄を讀めば直ちに實行が出來るやうになる。貯金の無いものが之れを讀めば直ちに貯金が出來る。今迄銀行や郵便局に安い利息で預金をなして居た人は直ちに其の利殖法を悟つて二割乃至五割と云ふ高利に廻すことが出來るやうになる、而して安全に確實に成功することが出來ると云ふ、恰も盲目な手引するやうに一々懇切に指導してあるのが本講義錄の特色である。

▼會員には永久指導

單に講義錄が懇切に金儲けの道案内をする許りではない、一たび本會へ入會した人は社友として永久に本會との關係を持續し其の人が成功致富の目的を達する迄、本會に於て永久指導の任に當り、此の手で金が儲からなかつたら斯うする、それでも成功しなかつた際にはかく〳〵と、一々實際問題を捕へて其の指導を爲し、永く諸君が最良の顧問たらんと期する次第である。

▼本社の確實なる事

本社は資本金二十萬圓拂込濟の株式會社である。而して本社の顧問として現に其の指督に參與して居る高柳淳之助氏は無一文から最近十年間に四十萬圓の富を作つた人で、余も又最近二箇年足らずの間に約五萬の富を作るに到つた其他、本社の重役は何れも自己の努力に依り一代にして富を致したる人々である。以上の人々に依つて經營さるる本社發行の此講義錄が如何に實際的權威を有するのであるかは改めて云ふ迄もあるまい。

▼百圓の元金を得る法

以上述べ來つた所の致富の要道は主として百圓の資本金あるものを土臺として來たが諸君の中には百圓の元金を有せずして、其の百圓を得るには如何にす可きかに惑ふ方もあるかも知らぬ。予も亦其の點に就ては特に懇な用意の講義錄に於て先づ百圓を得るには如何にす可きかに就て自己の經驗を基礎とし誰れにでも容易に出來得る實行方法を詳細に述べて置いたのである。故に茲には之を省略して置く。

▼今直ちに決心せよ

諸君の中には此の廣告を見て直ちに贊成する人もあるであらう、又種々なる疑ひを起す人もあらう。予は斯くの如く疑ふ人こそ大いに歡迎するので、斯の如き人こそ予の大いに力を盡して說破せんと望む人である。故に此廣告を見たる諸君は其何人たるを問はずハガキを以て東京市神田區一ツ橋通町八番地株式會社富强世界社へ宛(貯蓄投資研究會規則書送れ)と申込まる可し内容明細に分る規則書無代にて進呈す

醤油味噌界の霸王

キッコーウリー醤油ほまれ味噌釀造元

(仁川港。日本醤油株式會社工場全景)

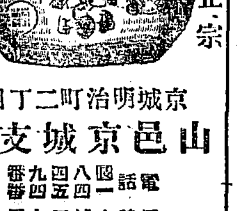
内科 胃腸病科 診察夜九時迄 京城本町一丁目 石川醫院 電話一二三七 二九〇九番

外科 一般花柳病科 内科 一般皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 京城旭町一丁目(本通り左に入る) 島崎病院 電話二七三六番

移轉廣告 弊店儀今般都合に依り左記の所に移轉仕候間何卒倍舊の御引立願上度此段謹告候 釜山府榮町二丁目 合名會社鈴木商店出張員 電話長七六三番

京城本町一(江戸川横) 岡本歯科醫院

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗



京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話 八四一 四五 九四番 振替京城五七番

耐火煉瓦 ▲蠟石煉瓦(三十番より三十四番) ▲シャモット煉瓦(三十番より三十四番) ▲ダイナス煉瓦 ▲ヤケネシヤ煉瓦 ▲耐火モルター其他耐火物各種 平壤府橋口町(電話壹貳五番) 合資會社京谷商店

二十七日前場 十月限 [illegible] 十一月限 [illegible] 十二月限 [illegible] 一月限 [illegible] 二月限 [illegible]

仁川期米 後場 當限寄付 中限寄付 先限寄付 未著

[illegible] 九錢と手堅く成行 [illegible] 各地電報は遂に到著を示さず底意卿か氣迷ひの態なり ▲後場當限二節二十圓三十錢

仁川米豆取引所 二十七日の十二月限

豫報 [illegible]

▲京城溫度(十月廿七日正午) [illegible]

左甚五郎

第六十七席　桃川如燕口演　浪上義三郎速記

甚五郎は三五郎を坐敷へ通し　甚『何に御用でお出になつたか　三『棟梁に一ツお細工を願ひたいのですが　甚『私に出來ることなら宜うございますが、甚麼ことなので　三『實は恐う／＼云々是々なんで……　甚『ハア成程　三『外聞の惡い話しですけれど、弱ツてしまいまして棟梁のお腕前を承知して居りまするから、お願ひに出ましたのでげすが、遣つて頂きたいと存じますのでげすが如何なものでげせう　甚『門跡棟梁の前だが、彼仰る通り上方の大工は洵に彫物は慣れて居る、又江戸大工は彫物は手掛けね

わたつて恥でもねゑのだが、棟梁と云はれることになるとそこは辛い、是は遣りますがそれは私には出來ませんと云ふのは言ひにくい話し、又稼業として他の商賣なら兎も角も大工が大工の所へ來て何うか何分頼むといふ、お話しは實にお察し申す、定めしお辛いことでせう、けれども甚五郎の仕事で宜ければお請合ひいたしませう　三『ヘイ、それじやア棟梁遣つて頂けますか　甚『エ、宜うがす、俺も貴下の心持を汲んで足ずながらも骨を折つて遣りませう、何うか一心になつてやつたら普通の事は出來るだらう　三『イエ、何ういたしまして、何うも鐘樓堂の龍なぞも伺つて、大工仲間でも舌を卷くやうな譯で、何うか何分願ひます　甚『寸法は何の位ゐです　三『エ、此處へ持つて參りました　甚『ハア、宜うがす畏りました、自慢じやアねゑが一ツ貴下のお恥にならねゑやうに立派な物を拵へませう』と快く甚五郎が受合つてくれたものですから三五郎も大きに喜んで　三『先生洵に勝手なことを申すやうですが、何日頃出來ませうか、　甚『宜うがす、何うせ遊んで居ますから、早速拵へることにいたします　三『有難う存じます、何うか宜しくお骨折を願ひます』と頼み置いて三五郎は歸つた、何うしたかと女房は心配をして　きん『オヤお歸りかね、何うしたね　三『イヤおきん、諺に三ツ子に敎へられて淺瀨を渡るといふことを能く云ふが、面目ねゑを捨て、お前のいふ通り早く行きやア宜かつた、宜い棟梁だ洵に氣輕な　きん『然うかね　三『話しをしたら宜しいと一も二もなく肯いてくれた　きん『それ御覧な、案ずるより生が易いで、早く然うすれば宜かつたんだ　三『まア棟梁の恥にならねゑやうに、立派なものを拵へるてゑんだ　きん『まア宜かつたね　三『俺も重荷を卸したやうな心地、それでまア本淨寺樣へも威張つて話しも出來るし仕手方にも威張つて仕事に掛けて置ける樣な譯だ』と大變に喜んで　三『今宜い刺身が見ゑたつけ、是でも一ツ前祝いに一杯遣らうと思ふ、赤い顔をして帳場へ行くと叶けねゑから、烏渡俺ア見廻つて來て飮るから……』と大層機嫌が快くなつて帳場へ出掛けるといふから女房のおきんも喜んで、肴を取揃へて一と口飮せるといふことになつた、偖然うなると、取付けてしまふまでは未だ苦勞があるもの、未だ出來はしないだらうけれども、何の位遣つてくれたか聞いて來やう、と三五郎諏訪町へ來ると戸がピッタリ閉つて居る　三『オヤ／＼、未だ起きねゑのかしら、だつて今時分まで寢ちやア居めねが』と錠も何にもかゝつてないから、居るに違ひないと、トン／＼トン／＼と叩いて　三『ヘイ御免下さい　甚『ヘイ何誰……　三『エ、三五郎でございますが　甚『ハア棟梁今開けます』と戸の隙間の所から怪う覗いて居ると、奥の所の二枚の障子の中仕切がある、其の向ふの端の方の障子を少しばかり開けて己れの身體の出るほどにして出て參りました

外科一般　皮膚科　泌尿器科　花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會横
安部醫院
電話四一九番

牛乳　朝鮮牛乳　御用　病院ルテ
京城東四軒町
岡野牧場
電話一〇六九番

銃
鉄砲は多年の經驗と完全なる設備と獨特の技巧とを有する
龍山元町二丁目
玉井銃砲工場　電話五三八

十月廿九日　九星
舊九月十四日　申　辰
本命　二黒　坤　破　佛滅

▲二黒・評の解けぬ事有日新事見合東方は吉▲三碧・院のきかぬ事有日新事手控▲四緑・評のわかる事は吉慮入念にせらるべし▲五黄・からぬ事有日新事手控獨身は妨なし▲五黄・心外至極の事有日新事手控萬事は吉備▲六白・人のせわを爲す勿れ▲六白・用意周到の日〔以下判讀困難〕居入學金件名弘出　職求　職婚禮等皆吉牧に勝の日▲七赤・大儲有日轉居入門金談起業求職縁組織物染等皆吉▲八白・頼まれ難儀の事有日新事手控萬事は吉保證連帶等を禁ず▲九紫・盛運の日轉居入學金件名弘求職家作婚禮證券發行皆吉▲一白・うんざりする事有日新事手控萬事は吉衛生に注意せらるべし

周易
明治町三丁目
介石堂
岡村介石

胃が丈夫
であれば、體力も强健になる、頭腦も明晰になる而して有ゆる活動にも艱難にも容易に堪得る樣に成る
胃を丈夫にするには我陸海軍の五大軍醫が合議して製劑た健胃劑中の王と云はるゝ胃活を服むに限る

胃病　良藥

定價　一圓　…
東京日本橋本銀町　大阪南久寶寺町
山田安民藥房　山田安民藥房
本舗

皮膚病藥
ホシセプチン
定價十錢
各地約店藥店にあり
いんきん、たむし、しつひぜん、毛虱、しらくも
東京京橋南傳馬町
星製藥株式會社

ヨクキク
ホシ下痢止
急慢性下痢　胃腸カタル　吐瀉　滲腹
定價　十錢　廿錢
各地特約店藥店にあり
東京京橋南傳馬町三
星製藥株式會社

當會社解散候ニ付當會社ニ對シ債權ヲ有スルモノハ大正六年十二月三十一日マデ清算人ニ申出ラレタシ此期間内ニ申出ナキ債權ハ清算ヨリ除斥スルコトアルベシ
右廣告ス
大正六年十月廿日
釜山棧橋株式會社
清算人　迫間房太郎
同　大池忠助
同　豊田福太郎
同　丹谷喜三郎

軍隊毛布
曾て市場に現れたる事無き善良品
先頃本社が提供せしロシア軍隊防寒用毛布の約束通を今度の暴風雨の爲倉庫の都合上更に八千組を短日に賣放たし軍隊大判二板續一組（無蹴）原絲値段なる二圓九十五錢で御注文に應ずれば此際至急（ハガキ）で申込あれ受付順に引換郵便で發送す多になれば五圓以下では買ぬ實用品である
東京神田　東京織物仲繼店
神田振替東京七三四六番

料理研究の捷徑

▲料理が容易に覺えられて　▲作法も同時に習得出來る

日本ほど料理智識の乏しい國は稀であるが、近來我が婦人會に料理研究熱が勃興して、何人もこれが習得に努めて居るのは、誠に喜ばしい現象であります。然るに日本には未だ料理研究の機關乏しく、折角料理研究を思ひ立つた方も、良い講習法無きに苦しんで居るのであります。

▲板垣伯爵夫人は此の時代の趨勢を看取して、夙に東京割烹講習會を設立し、完全なる料理講義錄を發行し、日本料理、西洋料理、支那料理は云ふに及ばず、日本菓子、西洋菓子、漬物、鮓の法、物等より、各種食品の研究、名流の講話、諸の製造等に至るまで、苟くも料理に關する事項は、一切これを網羅し、然かも其の講義は斯道の專門大家が同會の附屬割烹學校に於て、日々講述實習せし結果を、季節に適合せしめて掲載せしめたもので、文章は極めて平易、附するに總振假名を以てしたれば、何人も一讀直ちに料理に精通することが出來るのであります

▲一擧に兩得　尚ほ板垣伯爵夫人は、現時我が國に禮儀作法の頹廢せるを憂へて、特にこの講義錄に禮儀作法の一科を附し、婦人の是非知らなくてはならぬ禮儀作法を、一々圖解して、詳細に說明してあります。故に同會の會員となり、其の講義錄を讀めば、容易に料理に精通し、然かも禮儀作法を覺えることが出來るのであります。同會は目下

▲會員の大募集中で、此の際入會者には種々の特典ありと云へば只今が入會の絶好機であります。

▲入會の手續は極めて簡單で「ハガキ」に『講義錄見本』と書いて申込めば、直ちに會員として送本し、會費は送本後、毎月其の地の郵便局より集金に行く故、何の手數もありません、會費は一ケ月僅かに參拾五錢で前金を以て申込む方へは半ケ年分前金で申込む方へは壹圓九拾五錢に割引し、壹ケ年分前金で申込む方へは參圓六拾錢に割引します。

▲内容見本無代進呈　尚ほ内容見本御入用の方へは、無代進呈しますから、遠慮なく

東京本郷元町　東京割烹講習會

へ申し込んで下さい。同會は振替口座東京一九四一〇番、電話下谷五六九二番であります。

診察時間　自午前九時至午後六時
初診の御方は可成午前中
京城長谷川町二丁目（朝鮮銀行裏門前）
シメノウチ齒科醫院
電話八一二番

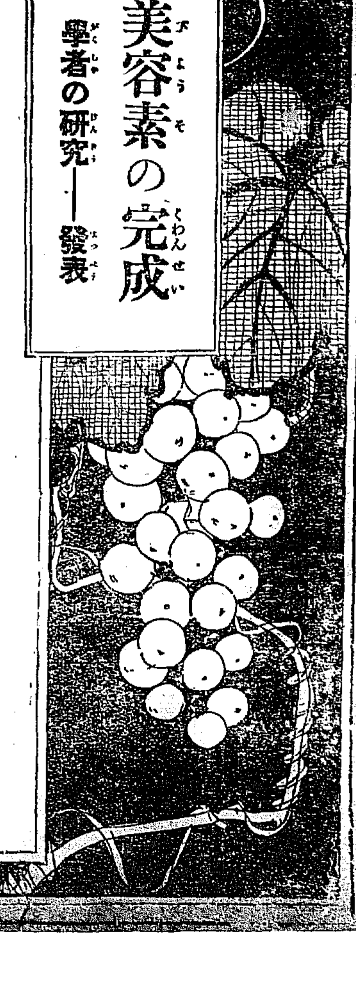
優等清酒

福岡縣三井郡山川村
釀造元　富安本店
京城永樂町二丁目
發賣元　富安京城支店
電話四一〇三九番
振替口座四三九番

貯蓄預金
元金百圓ニ付日歩壹錢三厘
金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店
京城黄金町　電話四三〇番　五八〇番
振替貯金口座京城八一四番
同　龍山出張所
龍山元町二丁目　電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

新美容素の完成
學者の研究―發表

垢ヌケする成分を含む
美顔水
▲垢ヌケする譯　▲ニキビ吹出物を治すには……？

女學校へ
お通ひの頃に比べると、大概の方は卒業後は急に女らしく美くなるものですが、これは卒業後は化粧の事なぞにも心を附けるため自然垢ヌケするからで、また現に顔立はそれ程でなくて、それでゐて不思議に人を引着ける樣な美しい方々に就て考へて見ますと、十中の九分九厘まで垢ヌケのした方々であるのを見ても美しくなるのに一番大切な條件は「垢ヌケ」である事がお解りになりませう。
所で垢ヌケするのには、皮膚の新陳代謝と言つて、陳い汚い表皮を、新しい美しい表皮と入代へる、元來皮膚に具つてゐる作用を一層活潑にさせるのが第一ですが、其作用を極めて活潑にする成分を含んで出來てゐるのが美顔水で、殊に桃谷研究試驗所の學者が發見した新しい美容成分を原料に加へてから美顔水の効力は一層强くなつたので有名です。ですから美顔水を一瓶や二瓶で止めず、朝夕續けて使つてさへ被居れば、垢ヌケした眞に美しい人となられるので、上中流御家庭の御賞用が益々盛です。
次に同じお化粧でも、ヤボな田舍臭いお化粧と、スッキリ垢ヌケして、如何にも氣持よく美しいお化粧があるものですが、化粧用美顔水を白粉のトキ水に用へば、白粉のノリやノビが非常に良くなり思ふ儘美しいお化粧が出來、殊に其化粧ぶりがスッきりして、垢ヌケのしたホントウに美しいお化粧となりますので大層重寶がられて居ります。
◆尚ニキビや吹出物を治すのには別に「ニキビとり美顔水」がありますから其れをお薦め致します。


汽車　京釜線（南行）（北行）　京義線　湖南線（南行）（北行）　京元線　京仁線　〔時刻表、判讀不能〕

京城日報　第三版　二十八日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

二十七日觀測（小雨）　最高　最低　中間　平均　三六、九〇　三〇、五七

京城日報

露西亞の形勢

最近獨逸海軍リガ灣に出動して其島嶼を占領するや、露國政府は其作戰計畫上ペトログラードを爭地帶に編入するの必要ある爲め其首府を莫斯科に遷さむとするとの傳ふ、曩者獨軍の爲めにリガを奪はれ、今又獨逸海軍の爲めに其海上を壓迫せらる、露人恐慌を懷くは必ずしも其故なしとせざれども其首府を遷すといふことは果して露國自から救ふの策を得たる爲めなりや否やは疑問なり。

此度の戰役は初めより世人皆露西亞の陸軍に重きを置きたれども其海軍は殆んど計畫の中に入らざりし程なれば今日に及びて其の獨逸海軍に對して十分なる抗爭を爲すべきことを期待するものなし、然りながら此度のリガ灣戰鬪の際に露國艦隊は殆んど抵抗力を示さずして退き、二十隻に餘る艦隊が空しくムーン島の瀬戶內に封じ込められ、クロンスタットの露國艦隊は遂に之を救ふを爲さずと云ふが如きは如何にも意外千萬の沙汰ならずや。

併しながら今日の露西亞は革命後の混亂にて人心未だ定らず、其陸軍の振はざる如く、其海軍も亦振はず、特にクロンスタットは獨立運動一揆暴動の中心なり、獨逸海軍の突如として來り襲ふに際して、危急相救ふ能はざるは或は其の已むを得ざる所なるやも知るべからず且今日リガ灣を敵に支配せられたりとて、これが爲めに全く波羅的海の制海權を敵に奪はれたりといふ次第にもあらずして、未だ必ずしも失望するを要せざれども、只さへ恐慌を懷きつゝある所の露西亞人民は之が爲めに一層の恐慌を增すは蓋し已を得ざるなり、露國政府が其首府を莫斯科に遷さむとするが如きは、或は戰線に遠ざかることに依つて、必ず其人心を安せむとするものならずや。

尤もリガ戰鬪以前既に露國內に遷都の議なきにあらず、乃ちペトログラードは勞兵會全盛の地にして、これが爲めに政府は常に其壓迫を受け往々にして政局の困難を引起すことなきにあらず、從て其の鋒先きを避くる爲めに首府を莫斯科に遷すべし[illegible]り、成る莫斯科は今日[illegible]的に安靜の地なり、特に資本家商工業者の勢力甚だ強大なる處なれども一たび政府を此に遷さば勞兵會其他の政治運動を事とするものは忽ち之に附隨して移り來るべく、又今日の露國は資本家に對する無資產者の反抗運動の騷擾なり、莫斯科にして政治的中心とならば此地は遂に資本家對無產階級の爭區たらざるべからずして政治上の爭さ社會上の爭を相混じて一層紛糾し來ることなきを保せざるなり。且ペトログラードを棄てゝ莫斯科に遷さば即ち是れ英佛諸國との連絡を不便にする所以にして露國に取りては容易ならざる事なり、此度の海戰にて露國海軍の不振を示し獨逸艦隊の跳梁に委するが如くは、露國は遂に協商諸國との連絡を失ふとなしと云ふべからず、是れ吾人が甚だ遷都の說を喜ばざる所以なり。

航空界と歐洲戰（十）

國民飛行協會長　長岡外史中將講演

而かも其の戰費總額は千三百億と云ふ驚く可き額であつて、英吉利丈でも凡そ四百六十億、佛蘭西は二百七十億、獨逸は四百億、墺太利が二百億、其れでも尙ほ不足して居ると云ふ譯である。又英吉利に於ける軍需品製造所は官設が八十五倍に、私設は七百六十六倍に增加した。ソンムやイープル方面の一會戰に砲彈一千萬發以上を費して居るのであるから、驚く可きものである。ナポレオンは戰爭に必要なるものは三つある。曰く第一に金、第二に金、第三に金、と、如何にも其の通りである。故に何れの方面より見ても國富の增進を期せねばならぬ。國富が進進せねば戰爭も出來ないと云ふ事が一層明確になつて來たのである。砲彈を何百萬發と放つたと云ふ言葉が戰場で流行る位であるから、戰爭するには國家の資源が無盡藏でなければならぬと云ふ事が解つて來た。斯の如くにして將來絕對的に國力を增進せしめる必要ある事が何れの國でも痛切に感得したのである。又戰爭が與へた新たなる敎訓は、短かいものが長いものを卷いて居ると云ふ事である。協商國の人口は（亞米利加合衆國を除く）三億萬と、同盟側は一億四千萬人であるから、人口は約半分、富力に於ては協商側が四千億、同盟側は二千億、之も半分、貿易總額は協商側が二百七十億、而して同盟側が百二十一億、之は半分にも滿たぬ。尙又大正二年度の軍事費を見ると同盟軍が九億六千萬圓、協商側が二十二億萬圓之は約三倍、總て獨逸側が半分或は半分以下である。然らば長いものが短いものを卷取つたかと云へば反對に短い獨逸に卷かれて居ると云ふ次第である。事實は如何かと云ふに、協商側が、獨逸側に奪られた機關銃が四千挺、大砲が一萬二千門、小銃百六十萬挺、人間は百七十萬人之は十師團を編成するに足る員數である。此の他土地が五十二萬平方ミリメートル……日本內地と朝鮮とを合せた位の面積を奪られて居る。之に住む人間の數は四千六百萬、此の土地の生產の內譯を言ふと、佛蘭西の石炭產額の六割五分、鐵總產額の九割、一般經濟力の四割六分が獨逸の爲めに占領されて了つた。尙ほ白耳義は御承知の通り殆んど全部占領されて居るのみならず、セルビヤ、ルーマニヤまでも手が入つて居るのである露西亞の方は石油並に鐵の一割五分は奪られて居る。前申述べる通り、戰爭の結果民間に於ける軍需品製造工場は七百六十六倍に擴張されたのであるから其の建物の如きは堀立小屋然たるものであらうと想像されるが、此の關係方面の調査をやる爲に英吉利に行つて歸つた人の談に依ると、倫敦の近所には實に立派な工場が盛んに出來つゝあると云ふ。御承知の通り英吉利人は極く保守的な人民であるから、建物の如き實に舊式であつたが、此の頃はドシ／＼新築をやつて居ると云ふ次第である。

支那漫遊

蘇峯生

長き寢臺車

十月三日より七日迄は、大連に於て微恙の爲め、謝客安臥若しくは困臥、懶臥せり。此が爲めに各地の諸友より、見舞の電報を煩はしたるは、予が慚愧に禁へざる所也。七日漸く起き出で、同宿の中村都督に面し、且つ國澤滿鐵理事長、樺山理事等を訪へり。何れも一向て、予は今朝當地に到著せしものと認められたし。此の數日間は、寢臺車に眠通しにて、經過したるも同樣なれば也と云へば、中には長き寢臺車なりとて、互ひに大笑せり。國澤氏席上に於て、老漢老漢と三たび相ひ見る。一たびは老漢發程前、逗子老龍庵に於て、二たびは京城南大門に於て、三たび即ち此處也。老漢昨日天津より汽船にて、當地に來著したる也。因緣良とに淺からざる也。

久し振りに室外に出づれば、恰も籠鳥の[illegible]を脫したるが如し。況んや絕好の秋晴をや。乃ち赤毛布客同樣、市街や、公園や、埠頭や、隨處見物す。之を三十九年夏の曾遊當時に比すれば、隔世の感あり。縱令大連は、露人の計企を襲紹したりとするも、之を大成したるは、我が大和民族の手腕也。露國時代には、一萬八千の人口に止まりしも、今や其上に十の字を加へて、尙ほ餘りあるに至れり。其の貿易額の如きも、輸出入合計一億五千萬圓內外なる可し。今や二個の埠頭に不足して、更らに第三埠頭を築造中也。其の盛況想ふ可し。而して其の主たる要素は、滿洲大豆にあり。誰か日露戰爭の當時、此の大豆が滿洲の一大資源たるに、氣附きたるものあらん哉。

大正六年十月四日朝　大連に於て

誰（107）

布施生譯

利介は勇立つて『よしそれぢや今日の中に爺樣に手紙を出して火曜日の朝早く受取に往くからと通知しておくぞ、爺の奴は月曜日の晩には留守になるそうぢやないか』賴太郎は頷きながら『爺樣も確か何處かへ出懸けるよ、處で今日言つてやつて火曜日の朝と云ふのは少し性急ぢやないか』『そりやそうだ、しかし銀行家と云ふ奴は通知が行り次第直に大金の拂渡しが出來ると云ふのを肩身が廣いやうに思ふものさ、だから大抵間違はないよ、貴樣は又鈴富の奴に銀行の戶が開くなり拂渡をしてやつて呉れと巧く傳へておいてくれ。』『よし、實は鈴富には今晩か會ふ筈だで隨分手際よくやつて置かう、爺樣から返事が來たら早速知らせてくれるだらうな』『承知した。』賴太郎が暇を告げてから利介は今日から火曜日迄の時間をつて愈々大願成就の時機が來たかと嬉しさに落着かなかつた、賴太郎は之と反對に同じく今か今かと其時機の到る迄の時間を[illegible]ながら何とも謂へぬ程沈んだ氣になつた、賴太郎は此頃やう／＼保部夫人が氣の毒になつて其人に對し此樣な事をするのは我ながら氣が惡い、若しや生れ變つた人間になると云ふ事が苦痛もなく苦勞もなしに出來るものなら彼は今や斷然其方に旅つたに相違ない。今度の計畫は利介の爲にこそなれ自分に取つては何の必要も無いで、考へてみれば利介の奴の陰險さには仲間同志とは謂へほと／＼嫌氣がさす、若しや彼を裏切つて自分の身に差障りがないものなら自分は今にも保部の方に寢返りしてやらうものを、こうまで考へたが利介の方に油斷はない、彼は一刻も賴太郎を離れず、智慧の限を盡して計畫成就後の賴太郎の生活を誇張して話して聞かせ、そうなつた曉、母親に今迄の恩返しをすればいゝぢやあないかとさへ言添へた。

兎角する內に當の日になつた、利介は賴太郎の浮ぬ顏を見て『何だ怖いのか。』と嘲する賴太郎は意久地もなく『怖いよ、己は何だかやる氣にならねえ。』此時時計は八時を打つた、賴太郎は顏色蒼醒め居ても眞青になつて齒もかち／＼と、立つてゐる氣力もなく『出來ない／＼如何しても己には出來ないよ。』と挑げるやうに言出した、利介はそれを聞くと嚇となつたが思返して急がしく呼鈴を鳴らし熱燗の酒を持て來させて賴太郎に附突け、飲めと命令して無理やりに飲ませた、飲終ると賴太郎の面には又血色がさした、彼は拳でどんと卓子を叩いて『よし往かう。』

○雜誌抄

▼食用法（食物の衛生）……

▼油氣の物を食する時は、必ず大根おろしを添へる事。但しあぶらは動物性の脂肪よりも植物性の油を最も良とす

▼肉類は必ず野菜と共に食合せ食する事、佃煮は食の味付に心得多く食すべからず、尙肉類は以上の如く食物を大略次の割合

▼割合に食せば、健康長壽たる事を得べし

▼肉類一割　魚類一割（飯食物）は三割の內、野菜類二[illegible]

▲商船尼崎協定　瀨戶內海沿岸に於ける尼崎汽船と大阪商船との乘客貨物の爭奪競爭は兩社の[illegible]之を實施すべしと

▲石炭界惡傾向　石炭價の騰貴は勞ひ大石炭商も最も苦痛とする處にして是等は槪ね大口の長需要者に對し法外の高價を要求するの傾きあり三四流の石炭商又之を見て法外の暴利を貪るの風潮致し依つて炭價の騰貴を[illegible]

[illegible]課の調査に依れば水害[illegible]作物にして[illegible]は僅かに西成郡の一部及び三島郡吹田方面並に三箇牧村に止まり他は全く收穫皆無と見るの外無きも府下農會技師[illegible]郡技師等協議の結果農民側の希望もあれば取敢ず籾種を三島郡に六百八十石西成郡に[illegible]

▲[illegible]　印度向玩具は船腹及び運賃の關係上殆んど杜絕の姿なるも支那向輸出は依然旺盛にして漸次註文增加の傾向あり然るに鉱力拔を始め木材等の材料及び勞銀騰貴により[illegible]材料及び勞銀騰貴により[illegible]の傾向あり[illegible]なる物にて支那行きとしての特殊品はなく內地向と同一品にて價格もダース十五錢より三十錢位の安物歡迎せられつゝありて此の點に於て米印方面に比し製造上多大の便宜あり

定價　本紙　△一ケ月金[illegible]　△[illegible]
廣告料金　△五號活字一行[illegible]
發行所　京城太平通一丁目　京城日報社　電話[illegible]
發行兼編輯人　奥田直[illegible]　印刷人　小川三之介

畜產　十月號發行　定價二十錢
本會主催　第三回全國畜產大會　開會の辭　會頭　樺山資紀
獸醫學上より觀たる產馬の現狀　獸醫學士　岸本雄二
蜂の增大產卵の縮小、分封熱　農學士　德田義信
成鏡南道產牛移出に就て　朝鮮　十屋傳作
育雞法の改良を望む　飯田平作
本會主催　第三　全國畜產大會記事
邦産の鶏卵の馬匹狀況……獸醫學士　水原保堂
支那の鶏卵の加工……青島守備軍調查
米國にて實驗したる牧畜……一作　新三郎
競馬法制定問題の昨今……記者
其進合の安危……夢幹生
其他有益にして趣味ある記事並時事雜錄
中央畜產會

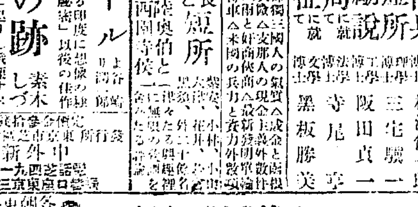
大正六年十一月號　娛樂世界
□檜山騷動……錦城齋典山
□伊豆倉お豐……神田伯龍
□正雪の陰謀……桃川燕林
□蒟蒻問答……三遊亭金馬
□向井藏人……大島伯鶴
□孝行萬兵衛……桃川燕林
□木鼠吉五郎……悟道軒圓玉
□なしば明烏……三遊亭小さん
□戰時探偵小說　午後二十時の聲……西村男作・紫小道
▲人形の居芝居……本山荻舟
▲女義師……黑面老人
▲笑說の毛……みはる
▲誌上芝居　狸の丸……鈴木春浦
▲十八番勸進帳……桑野桃華
▲活動の思ひ出話……田口櫻村
▲[illegible]部……島田曲雨
□探偵實話　逢洲の客……江見水蔭
□實史　水の流……能坂夢寶
◎大懸賞　募集勸業債券其他賞金莫大
定價廿五錢　娛樂世界社

中外新論　第二號　十一月號
社說　戰爭は何時止むべき乎
立君政體と共和政體　法學博士　松波仁一郎
參戰と出兵……文學博士　三宅驥一
科學獎勵の短所……法學博士　阪田貞一
獨逸の時局に就て……文學博士　寺尾亨
支那太閤外征……黑板勝美
豐太閤外征に就て
雜爼　人事一……
古人今人　陸奥伯と西園寺侯
大養木堂の長所と短所
小說　ラホール　よ[illegible]
小說　慘事の跡　素木しづ
隱岐の孤島　如雲子
漫畫……
浮沈傳　吉川脊水
伊東巳代治論　渡邊長峯
コルネリヤと鳩山春子
烟草哲學　林田龜太郎
長壽の祕訣　醫學博士　浩氣散史
決鬪と獨逸魂　小宮三保松
日本藝術の一轉機　高安月郊
丹青危言……杉浦俊香
航空機五萬臺の將來　アート・スミス
樺域芳信（入道の一步）
戰後の亞細亞（英和對譯）
伊藤公直話　御殿山燒打事件
この日ごろ……日向きむ
異人を殺して　天松民鶴
發行所　東京市芝區愛宕下町二丁目二ノ　中外新論社

最新刊
國語大辭典
大阪屋號

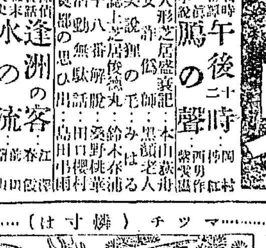
特約販賣人募集
御用達

專賣特許　帶津式繩叺機械



大邱府元町二丁目　東屋商店

マッチ（寸燐はハネシカ）



品質保證　ねの安い　最經濟的の「マッチ」は……ハネシカに限る
京城本町　森久本店

商業登記公告
開城支廳

變更登記公告
春川支廳

淑女画報
目も鮮かな畫報四十頁
野菊……
二色版寫眞二頁
諸名流の夫人と令嬢
文展の出品者中の閨秀畫家
珍奇なる伊豆大島の婦人風俗
一粒選りの好讀物百頁
熟慮の後に斷行
四十餘組の經驗
三夫人の打明け話
自然療法の挿話
一種の獨特の讀物
中河の宿
愛の勝利
十一月號　博文館

カスミ網
吉備商會

此頃の御硯箱の內は如何に御座候や
此頃の御室內は如何に御座候や
よい筆、よい墨、の補充
御座敷用香の御使用
宮內省御用達　京都寺町　熊谷鳩居堂

わた　大下落　品入荷
一（スヤリメ）綿部　京城

運がよければ千圓二千圓に當る
總額拾萬五千六百九拾圓
京城貴金町二丁目　國民興產株式會社出張所

○重要問題協議

陸軍の首腦額を鳩めて

二十七日午前八時より參謀本部にて山縣、川村、奥、寺内の各元帥及び上原參謀總長、大島陸相參集重要事項に就き鳩首凝議し午餐を共にせるが寺内元帥のみは午後一時退出せるも他の將星は尙ほ引續き凝議中なり（午後二時二十分東京發午後五時着電報外再錄）

○リガ獨軍退却眞意

獨軍の前線撤退は二日間に約十八哩に及びフリードリヒスダットの北方にて特に著しかりき敵はドウイナの背面に陣地を固め只リガ防禦の爲め其の右岸を支持せんとするものなる事明かなり尙彼等は退却に際し建物道路及び橋梁全部を破壞せり（倫敦電報）

▲リガ戰線ドヴイナ河背後の獨軍の退却は二日間に三十露里に達したるが此はリガの奪還を企てんとする露軍の計畫を不可能ならしめんとするの意圖に出でたるものなり更に獨軍は波羅的沿海の戰線にて幅百二十露里深さ四十露里に亙り著しき戰線收縮を行ひ露軍を牽制し露軍をして更に敵に接近せん爲には既に築造せる其陣地の放棄を餘儀無くせしむるに至るべきを自認し居るが如しと（莫斯科電報）

○獨逸風潮險惡

暴動陸軍に波及＝徵兵避者續出＝政府の高壓手段＝戰捷よりも生存を＝戰爭中止を强要せん

獨逸國內暴動の風潮は今や啻に海軍のみならず陸軍部內にも波及し脫隊者の如き開戰當時は絕無なりしも今日は萬を以て數へ殊に下級社會壯丁の徵兵忌避者續出しキール軍港にては示威運動の鎭壓に大他機關銃等の使用を餘儀無くされ漢堡に在りては衞兵隊が不穩の狀を呈せる兵士の群に對し突擊するを拒み結果已むを得ずメクレンゴルヒの騎兵を以て之に代らしむるに至れり又ハノーグアにては軍隊暴徒と妥協して鎭靜の實擧らず又其市にては數名の婦人暴動事件に關聯して拘禁せらるゝ等同國內情の急迫益々甚だし殊に獨逸議會に於て曩に海軍大臣が艦隊暴動に關する說明を爲せる際の如き議場の紛亂其極に達し急進社會黨の政府に對する罵詈聞くに堪へず人民は今や勝利よりも生存を欲す戰爭は繼續す可きに非ずと絕叫せり獨逸人民は玆半歲を出でずして政府に對し戰爭中止を强請するに至る可き形勢にあり國內の生活機關は殆ど破壞の極に達せり（倫敦電報）

○獨軍墺軍を援助

獨軍は伊軍に對峙せる墺軍を援助する爲めリガ方面より大部隊を後進せしむるの餘儀無きに至れるを承認したるがイソンゾ戰線には已に大戰鬪進行しつゝあり（倫敦電報）

○伊國政府を信任

伊太利下院は九十六に對する三百十四の多數を以て政府信任案を可決せり（倫敦電報）

○伯刺爾對獨宣戰

伯刺爾政府は西班牙沖にて自國汽船マカオ號の擊沈せられたる結果獨逸に對し宣戰を布告せり（倫敦電報）

○米機募債ビラ撒布

米國飛行機は獨逸戰線に[illegible]ビラを撒布せり（[illegible]）

○南北調停協議か

二十六日英國公使館にて聯合國公使會議開かれたり英國公使ジョルダン氏の發議にて南北調停案を議せしに非ざるかと推せらる（北京特電）

○三菱製鐵會社

兼二浦製鐵經營

三菱合資會社臨時製鐵所建設部にて起業中の朝鮮兼二浦に於ける製鐵所近く完成の域に達するを以て今回三菱製鐵株式會社を設立し其事業を同會社に引繼ぐに決し十一月一日より其營業を開始す可し資本金は三千萬圓なり（東京特電）

○石塚總裁著連

石塚東拓總裁は高瀨理事、西田水南秘書を從へ廿七日午前八時大連に著せり國澤滿鐵理事長以下滿鐵重役大內民政署長其他官民多數の出迎へを受け大和ホテルに投宿滿鐵其他を訪問し大連金融業者の歡迎午餐會に臨み油房其他産業視察午後七時より重なる官民新聞記者をホテルに招待せり

▲急かず焦慮らず　現實に前進

石塚總裁の談に曰く「關東州を離れて十二年目實に今昔の感に堪へず余が民政長官たりし始め先づ大連市を如何に經營す可きかに就き畫策し住民將來の策として道路水道下水施設を定め市街としての大體の體裁を爲せしが今日來りて其殷盛なる狀況を見て驚くの外なし小崗子市街なども始めは苦力の集合地なりしが今は立派なる支那人市街に成れり逢阪町遊廓なども余の査定したる處にて當時は餘りに遠隔の地なりしが今は市街に近きに苦しむ程となれり大連市が斯く發達したるに拘らず鐵道沿線は十二年前に比して依然として變らず余は臺灣、滿洲、朝鮮に職を奉じたるが朝鮮が最も住みよき地なりと思へり。東拓の滿洲進出は今後急がず焦慮らず研究を重ね確實なる地盤を造りつゝ前進する計畫なり正金銀行特貸金繼承は中央にて全部交涉濟なるを以て奉天大連の兩支店にて各債務者と交涉を進むるのみとなれり」

▲今後の動靜　總裁は二十八日沙河口工場星ケ浦視察午後七時より扇芳亭に於ける官民の歡迎會に列席二十九日朝旅順に向ふ筈なり（大連特電）

○有吉上海總領事

有吉上海總領事は二十七日午後九時下關發列車にて門司著午後七時十分下關發列車にて京都に向へり（門司特電）

○海軍演習審判官

岩村少將・鎭海著

海軍演習審判官岩村海軍少將一行五名は二十六日鎭海へ到着東郷司令官と打合せを爲せり（馬山特電）

○朝鮮釀造界の品評

朝鮮釀造品々評會審査長　豐永博士談

今回の出品は總數二百八十點にして之を細別すれば、淸酒百十六點、燒酎醬油八十點、味醂二十七點、味噌五點其他の酒類三十八點なるが、之に就きては嚴密なる審査を遂げ其優良品を選拔して優等五、一等十四、二等二十七、三等五十五を得之に授賞する事となせり、左に審査の梗槪を述べて當業諸君の一粲を煩はさんとす

□淸酒　淸酒は優良なるものにありては品質優秀、色相淡麗、香味芳醇にして敢て移入淸酒に讓らざるのみならず、其の色相け銘釀地の逸品に比するも敢へて遜色なきは大に意を强うするに足る、されど香味の點に於ては槪して未だ完全なるものなく特に風味淡白に過ぐる嫌あり、惟ふに其の原因は製造場の不完全なると原料の處理操作の當を得ざるに因るものなる可く、又貯藏法の不注意に基くもの尠からざる如し

□燒酎味淋　燒酎は時に佳良なるものなきにあらずと雖も尙ほ改良を要すべきものあり味淋其他の酒類に至りては特に評するに足らず

□醬油　醬油は色澤香味共に優良なるもの多きは悅ぶ可し、然れども原料選擇の不注意、材料配合の不合理及び製造場の不完全なる等の結果は動もすれば釀熟遲延の傾向あり、加之若擇をなすの習ありて風味調熟せざるより加工調味の弊に陷り甚だしきものにありては甘味劑の使用多きに過ぎ其の臭を帶ぶるものあるは遺憾なり

□味噌　味噌は優良にして甚だ賞すべきものあるも中には色澤香味と伴はざるもの或は異臭を有するものあり是等は原料の選擇配合及び其の製麴法の缺點に基因するものなれば注意肝要なり

□希望　之を要するに釀造品が逐年改善の實を擧げつゝあるは明に斯界の爲慶賀に堪へざる所なるも是等は皆日用必須の品にして其の品質の良否は國民衞生上甚大の關係を有し且其嗜好は社會の進步變遷に伴ふものなるを以て當業者諸氏に於ては克く一進の步嗜好の變遷に鑑み日夜研鑽以て益品質改善に努められん事を望む

○東淸線讓受

久保理事車中談

沿線視察を兼ね南部京釜線驛長會議に臨席のため大邱に又湖南線驛長會議の爲裡里に出張中なりし久保滿鐵京管局長は伊藤四郎氏を隨へ二十七日午後九時南大門驛著列車にて歸京せり廿八日午前十時三十分發列車にて元山に向ひ三十日歸任すべしと尙ほ理事の中京城車中談片に曰く東淸線南半部の讓渡問題は最近日露當局の間に協議大に進行し唯其の評價問題のみ殘りゐたるなり京日東京特電の如く其の交涉の一進は恐らく事實なるべしと信ぜらるゝ理由あり而して吾國に其の引渡しを受くれば當然滿鐵の經營に移さるべきが明年一月一日よりは吉長線借款契約による同鐵道の新經營あり十一月よりは姉妹鐵道たる四鄭線三分の二の開業あり滿鐵の手も更に大に伸ぶる譯なり

○朝鮮郵船の成績（上）

大正六年四月一日より同年九月三十日に至る第六期前半年度の成績は定期航路命令私營併せて十七線所有汽船二十八艘一萬二百三十七噸傭船一艘五百七十八噸にして當半年度間の航海回數九百九十回航海運數延三百四十六萬四千二百九十九浬其輸送貨物十六萬四千六百六十噸旅客十四萬一千五百六十六人とす本季末を以て創業來方に五年有半を經過し社業の進捗至に順況にして半島沿岸運輸の便大に加はりたるは欣ぶに堪へざるなり而して航路の經營を見るに其完備を期すると共に漸次進路を開き其他諸線の經營に着手し更により北淸に元山より浦鹽斯德に仁川より北淸に航路を開き其他諸線の經營に入らんとすと雖も本季來を以て創業の進捗を[illegible]半島沿岸運輸の便大に加はり[illegible]而して朝鮮産業貿易の發達顯著にし蓋し朝鮮の之に伴はざるものあり從來當方面に出沒せし社外船は當方面の閑散期に來り一繁忙期若くは內地の關散期に來りし一朝比較的有利の方面に生ずるや直に之に趨るを例とし當今の時局の爲め他に有利の航路多きに及び當方面に其影を看ざるは怪むに足らざるなり其他々來襲し積荷運賃に於て横暴を極めんと欲するも得べからざるの所以は當會社の存するあればなり

一、近海航路

元山浦鹽斯德線（命令）本線に依る浦鹽斯德の輸出貨物は[illegible]一時殆ど杜絕し[illegible]大阪商船が就航せしも[illegible]六月以降當分の間之を一般當分の間之を休止せり

仁川、芝罘線（私營）本線は東沿岸方面の不況の爲め三月以降休航のところ四月より同方面に新造船を[illegible]相當の數に上り[illegible]方の秩序恢復し內地人の移住及び企業漸く盛なるに伴ひ本線に依る貿易品も多からんとす就中青島に於ける朱穀日用雜貨品の需要は槪ね之を仁川に仰ぐを例とし[illegible]

二、東沿岸各航路

元山、雄基線（私營）、釜山、浦項線（命令）、釜山、鬱陵島線（命令）、元山、長箭線（命令）、釜山、元山線（私營）、元山、[illegible]線（私營）

當方面の主要貨物たる鰮鯖の不漁[illegible]及び木材[illegible]の減少ありしに拘らず[illegible]他物産の[illegible]に伴ふ地方購買力の[illegible]京城工事中[illegible]の建設[illegible]要に[illegible]の往來頻繁なるものありて[illegible]に當方面は[illegible]一囘を以て[illegible]一航路[illegible]一回を試みしが成績良好にして[illegible]著しく發展を豫想すべきものあり

○天長節觀兵式

來る三十一日天長節祝日午前十時より龍山練兵場に於て觀兵式を擧行の事に決定せしが京龍駐在諸部隊指揮官は步兵第七十八聯隊長池内大佐にして參加部隊は步兵第七十八聯隊、龍山騎、砲兵各一中隊、朝鮮步兵隊なり

○立花師團長東上

第十九師團長立花中將は滋賀縣地方に於て行はるゝ陸軍特別大演習陪觀の爲來る三十日東上すべしと

○市川參謀長歸任

淸州附近に於ける南鮮各部隊機動演習視察の爲め出張中なりし軍司令部參謀長市川少將副官古城大尉一行は二十七日朝龍山著歸任せり

○三代議士發著

政友會代議士武藤金吉同熊谷直太同粕谷義三の三氏は廿七日午後九時南大門驛著列車にて入京京城ホテルに一泊二十八日午前九時十[illegible]

○佛軍敵陣地占領

二十五日夕刻發表の佛國公報に曰く今朝佛國は昨夜到著せる陣地の前方に總前進を爲し右の陣地に隣接せるエーヌ運河とノン村落及び森林並にバルグレフイレーンの南方にて我軍の手に歸せり我偵察隊が曩に突破せるフイレーン村落は我軍は新たに陣地を占領せり敵は我軍の壓迫に遭ひ多量の軍用材料を遺棄するの已む無きに至れるが內中には二十二門の大砲を含める內數門は六時臼砲なり十月二十三日以來全部にて大砲白二十門擲彈機、機關銃數百門を鹵獲せり此日我軍は二千名以上の捕虜を獲たるが此の戰鬪開始以來の捕虜總數は一萬一千餘名にて內二百名は將校なり（倫敦電報）

○英領事慈善音樂會

英國領事主催英國傷病兵救恤金募集慈善音樂會は愈々廿九日午後四時府廳內にて催す事となれり

●巡查部長試驗

警務總監部及び京畿道警務部にては二十五六日兩日巡查部長試驗を執行せしが受驗者六十餘名ありたり

○森安博士移轉

總督府醫院醫官森安博士は今回明治町一丁目より永樂町二丁目六十一番地（元松永道長官邸）に移轉せり

○阿部主幹入京

京城日報社主幹德富民新聞參事阿部鶴之助氏は二十七日午後九時南大門驛著入京浦尾旅館に投せり

人事

▲永井省三氏（撫順炭坑技師）二十七日入京不知火旅館へ　▲驪澤務務部長　管內巡視中廿七日午後歸任　▲牧山耕藏氏（代議士）古城菅堂氏（京畿）▲矢澤近次郎氏（金剛山探勝中の處二十七日午後歸京）

百聞百種

今度晩支那務官になつて二十六日の京城を經て北京に赴いた小林丑三郎博士が東京出發の際訣別の挨拶旁々一日松方老侯を訪問して敎を乞ひ且つ訓論の揮毫を需めると▲老侯即座に筆を揮つて『理情數』の三字を題して與へた▲而して其の說明に曰く▲社會萬般の事物は此三字の調和宜きを得ずして決して成立するものではない▲第一道理に適はねば事の不可なるは云はずと知れた話だが▲凡そ物事を爲すには單に道理一片のみでも行かぬもので▲其間には自ら人情に適すると云ふ必要條件を具備せねばならぬ▲併し仍情理のみ備はつて居ても勘定に合はぬ事は結局成立せんもので あるから▲最後には矢張り『數』の必要缺くべからざる事になると▲歐洲戰爭を當込んで撮影された佛國の女丈夫ジャンダルクの映畫は▲最近日本へ輸入されたが十二卷で一萬二千呎▲一年の權利金二百萬圓と云ふので何の興行師も一寸手を出し兼ねて居る相だ▲どうです京城の活動諸君一番奮發しては……。

宮內省御用達

キッコウマン

萬

最上醬油

本家甲萬醬油の名譽

本家甲萬印醬油は時代の趨勢を逐ひ常に釀法の改善と品質の精撰とを怠らざりし結果舊幕時代には西丸御用を其後明治聖代に進んでは畏くも帝室大膳寮御用の恩命を拜し且內外博覽會に出品しては每に榮譽ある各種の賞牌を受領し殊に最近京港萬國博覽會に於ては斯業界幾多の出品中獨り最高名譽の大賞牌を受領せる等如何に本品が優良にして光譽ある逸品なるかを證するに足らむ

謹啓秋冷の候に候處各位益々御淸榮奉大賀候隨而萬印醬油の儀每々格別の御愛顧を蒙り難有奉鳴謝候扨今回萬醬油輸出荷捌所を設置候に付右披露の爲來る十月廿日より支那及滿洲に限り萬印醬油參萬樽を左の方法に依り福袋入景品券附を以て發賣仕候間何卒御用命被仰付度奉希上候

一、賣出樽數　九升詰　參萬樽
二、賣出期間大正六年拾月廿日より拾貳月拾日迄但し期限內と雖も前記樽數に滿たる時は直に賣出を休止す
三、景品券は九升詰一樽每に袋入一枚を添付す百樽を以て一組とし一組の景品額四拾圓也

總金額　金壹萬貳千圓也

一組の內譯

壹等	參圓券	貳枚	六圓也
貳等	壹圓券	參枚	六圓也
參等	壹圓券	五枚	五圓也
四等	五十錢券	十枚	五圓也
五等	三十錢券	廿枚	六圓也
六等	二十錢券	六十枚	拾貳圓也
合計		壹百枚	四拾圓也

四、景品券は醬油代金と相殺して引替ふるものとす

萬印最上醬油壹萬貳千圓福袋入景品券附大賣出

釀造元　千葉縣野田町　茂木佐平治

輸出元　横濱市元濱町三丁目　萬醬油輸出荷捌所

朝鮮釀造品評會　壹等賞受領

京城蓬萊町
發賣元　三巴酒造株式會社
電話長一〇六七番　振替京城六一八番

太田出張所　電話長一二五番
平壤出張所　電話長五一一番

▲經濟潤澤

[illegible]に加へて一般穀價の高價化入なるを以て地方農民は先商品高價化入なるを以て却て上昇の傾向あり同地方に於て從來は[illegible]保上則江船の入津旬に相當の入荷の定換進にして取引の活況を見たり[illegible]

○安東縣雜信

▲新居場落成祝賀[illegible]祝日には安東官民合同の祝賀會を正午より公會堂に於て開催する[illegible]前零時二十分に至りたれば安東著は二十六日午後三時四十分發列車にて[illegible]

●平北經濟概況

平北に於ける九月の金融は引續き緩漫にして金利の如き一分五厘乃至三分の間に止まり資金は

▲回收勝 にして何等需要を誘致せざるの狀態を持續せり然し秋蠶及山蠶の販賣代金の流入續きありしを以て農民經濟潤澤なりし結果なり從て[illegible]貸付資金の移動なく只僅かに勝牛資金[illegible]に際債務返濟日用品購入等さに多少の資金の移動ありたるのみにして大勢には何等の影響なく地方金融業者は徒らに遊資を抱き放資の途に苦しむが如き狀況に陷り沈滯の裡に過ぎ[illegible]

▲內地相場 桑落の爲めに一般に[illegible]減したり[illegible]地方に於ては現在[illegible]一時的の現象たるを免れず[illegible]牛價格は一時暴騰したるも月末に到りて[illegible]下落の氣配を示し牛皮の取引も之が影響を[illegible]

▲出入貨物漸減 して取引不振を極めたり農作物は漸く收穫期に入り新[illegible]を開始するに到りしが成熟期に於て天候不順加之に霜害の被害尠なからざりしか以て[illegible]

▲補助貨の缺乏 [illegible]なれば各所に亘りて日常の取引に[illegible]が如き狀態なり銀行券は朝鮮銀行券[illegible]多く流通し北流通率十錢及五錢券多きに反し一圓券は漸く減少の傾あり上流地方に於ける支那洋銀は銀相場の[illegible]に伴ひ流出し流通極めて少く殆んど有無の有樣なり

[illegible]たるを以て今二十八日創業十周年の記念を兼ね支那町新築居場に於て落成式を擧行する事となれり▲天長節祝賀會 來る卅一日の天長節[illegible]

[illegible]日午後七時半着の急行列車は[illegible]五時半頃[illegible]驛に於て貨客混合列車事故發生の爲め線路の回復を待つ爲め約四時間半停車のやむなきに至りたり▲[illegible]しめたるも連絡する能はず▲長岡中將一行は廿五日新義州を午後發自動車にて新義州に向ひ長岡中將は廿六日[illegible]

[illegible]は港灣不良の爲め運賃の暴騰[illegible]大型汽船の入港不能の爲に生ずる出殻時期の滯貨の爲め被る金利、倉庫料、米質損傷、荷造の亂損、盜難等の損害を米一石に付二十錢と見積るときは最近三箇年間の輸出[illegible]築港費を年五分利の公債で[illegible]完成するものと假定せば右十六萬圓は三百二十萬圓の公債利子に相當すべき計算なり

●露都の移轉は容易に實現すまい

リガを占領した獨逸軍も雨期に入つたので短兵急には攻められない

◆それに勞兵會が邪魔をする◆

鮮銀哈爾賓支店長　阿部讓氏談

朝鮮銀行哈爾賓支店長阿部讓氏は滿洲視察の上今回入京したるが其視察談に依れば露國政府は政府を莫斯科に移轉すべく二三箇月前より準備に着手し重要書類や博物館美術院等の國寶は既に莫斯科其他の地に移して敵軍の

▽侵入に備へて居るが余の觀る處に依れば新聞紙に傳へらるゝが如く遷都問題が茲一二箇月中に解決さるゝ樣な事はあるまいと思ふ何故ならば獨逸軍がリガを占領した餘勢を以て長驅露都を衝かんとしても此の方面は沼地が多くて大部の軍隊を動かす事は困難であり且つ雨期に入つて居るから如何に懸河破竹の獨軍も

▽短兵急に攻め入る事は不可能である斯樣に天の時に於て地の利に於て獨軍に不利なる點が多いから國民は上下を通じて來春解氷期迄はペトログラードが陷る樣な事はあるまいと樂觀して居るが更らに遷都に對して一大障碍となつて居るのは勞兵會の妨害である元來勞兵會の中心勢力はペテログラードに有つて彼等は毎に

▽政府を脅威しあはよくば政府を倒して己れ之れに代らんとして居るから政府が自由の手腕を振ふ事が出來ぬ、其の結果一時も早く勞兵會の壓迫を逃れやうとして居るが勞兵會の勢力の中心地たるペテログラードでは如何ともし難いそこで名を遷都に藉りて政府を莫斯科に遷す可く焦躁て居るが政府の內兜を見透した勞兵會では此は一大事と思ふ

▽有ゆる手段で示威運動や牽制運動を起して政府を威嚇して居るから如何に政府が遷都を急いでも容易に實現せないのである然し結氷期も過ぎ愈々獨軍が行動を起し得るに至らば露都は眼前の燈の如き狀態に陷るは瞭かであるから遲くも來年三月頃迄には遷都せねばなるまいが扨莫斯科に政府を遷しても此處も同じく戰線から

▽百三四十里を隔つのみで獨軍の進出益々猛烈を加へ露軍の士氣廢頽せばペトログラードと同樣の運命に陷るべく遷都しても直ちに安心する事は出來まいと思ふ

◆露西亞の女軍　露都　殷野貴之

強敵迫り來る、露西亞軍中の婦人たるもの何ぞ默つて居られやう、さ妙齡諸嬢樓交へ此程婦人の決死隊を組織した。毎日練兵に餘念がない。此の寫眞は決死女軍の第一大隊である。勝れた胸はさ少々出てゐるが形がいくらか妙である。序でに第一大隊は素より健氣に、第二第三大隊を編成し戰地に向つたとも聞く。然し此の女軍が銃火の間に先づ戰場軍人の眼間にくぐれるであらう乎、位に終られれば結構だらう（十月五日發）

●生駒丸擊沈さる

亞弗利加マデラ島附近にて　乘組員は全部無事救助さる

神戶大正汽船會社使用船生駒丸（三千五十七噸）は十月二十日亞弗利加の北西カナリー群島を距る三百浬のマデラ島附近にて敵潛水艇の爲擊沈せられたるが乘組員四十七名は救助せられたりと（東京特電）

●精米所燒失す

損害額二萬圓　消防夫負傷

二十七日午前五時安東縣市場通五番地の二貿易商高橋眞二所有の精米所より出火全燒二棟二戸附屬建物三棟半燒二棟二戸六時四十分鎭火せり損害約二萬圓にして出火の原因は目下取調中なるが同所は安東市街目拔きの場所柄殊に早朝のこととて一時は混雜を來したるも消防夫及び消防夫等の措置宜しきを得て大事に至らざりしは不幸中の幸なりき出火を見付けたるは森永香松なる者神社に朝參の途中前記精米工場より黑煙の出づるを見て廿旨最寄りの警察に急報したるより時を移さず消防夫を出動せしめたるものにて家人は自宅裏の失火を知らざりし由燒失家屋は全部木造亞鉛葺きの爲め延火極めて速かなりしが罹災家建坪は約八十坪なりしと而して消防中消防夫一名輕傷を負ひたり他に人畜の死傷無し（安東縣特電）

●猛獸に咬殺さる

慶北榮州郡古峴面阿芝洞李吉成の子在春（一三）は十月十七日午後六時頃家より五丁許り離れたる山腹に放ち置きし牛を牽き歸らんと山路を通行中猛獸現はれて同人を咬み殺し約三丁の箇中に同人の殘骸を發見したるが榮州分遣所にては百五十餘名の里民を指揮して捲き狩りをなしたるも遂に害獸を發見するに至らざりしと

●二人組の啞强盜

婦人を慘殺して　二百餘圓强奪

十月八日吳市川通小田元助方に啞者二人組强盜押入り妻けいを慘殺し二百餘圓を强奪せり犯人啞者長山金一（二六）高橋朝雄（二三）は吳署の手に逮捕されたり（大阪特電）

●厄介な娼妓

漢江に投身を企つ

十月二十五日午前五時龍山二村洞漢江人道橋に跣足にて髮を振亂して走り來り橋上より漢江に投身自殺を企てんとしたる若き內地人女あるを交通取締りの爲巡廻中なりし龍山分隊の憲兵補助員が發見し誰何したるに逃走したるより追跡して取調べの結果女は彌生町遊廓一富士樓の抱娼妓三好わい（二七）と言ひ前夜嫖客の事より自暴酒を呷り家を拔け出して此の始末に及びたる旨申

奉祝提灯行列

私は大賛成です今年は大に盛にやりたいのです町總代さんのお骨折は謝しますが他の事とは違ひますから一つかり願ます（町內老人）◇何うです諸君一と一つ[illegible]もしてお互に町の面目にかいらぬ樣一番褌を締めてやらうではないか（櫻井町世話役）▲僕は何にか頗る奇拔なものを考へて居るが三四人の同勢が要る誰れか贊成者はないのか（假裝狂）▲早く行列の道筋を知らせて下さい私等には大に考案があります（南山町生）▲一軒から出す提灯の數には制限がありますか（某商店）▲何にも制限はありませぬ何でも宜敷です成るべく多い方が好いです（幹事）▲大にやるべし今年も最う天長節でお祝い騷ぎをやる事は出來ぬそれから冬籠りだ（江戸ッ子）▲吾等の町では朝鮮人が寄り合ひて提灯行列の協議をして居るが町內總出さから天長節にはお互サンさやらうではないかと云つて居る內地人たる吾々が知らぬ顏なしているさ飛んだ面目もない事になる朝鮮人なぞ發せなければならぬ吾々が却て朝鮮人より不祝儀はなかつたなら面目ないではないか內地人諸君に檄す（北部の一有志）

●藝妓の足拔き

平壤櫻町料理店七星館抱へ藝妓小光（二三）は今を去る四年前前借金八百圓にて七星館に抱へられたるが同人は京都に生れ女優さなりしこともあり技藝目早々より平壤第一の流行妓として持て囃されたるが近來內地新聞の[illegible]日の午前一時三十九分南行の列車に人知れず打ち乘り姿を隱したり、同人は抱主[illegible]の借金は全部支拂ひたるも市內の各商店に買掛の金なども支拂はず立去りし爲め同人の出奔後債權者たる各商人は事の顛末を聞き[illegible]く七星館に押掛け抱主に陳列を持ち掛けたるも抱主は一向取合はず止むを得ず廿五日午後一時より櫻町のりやに債權者[illegible]第を議しなりと（平壤）

●電車立往生

二十六日午前零時三十五分頃京城電氣株式會社の黃金町線電車は故障の爲め約十五分間停電せり

●坪井家の慶事

遞信技師坪井藤次郎氏長男[illegible]氏は今回遞信局の[illegible]總督府の坂出及び國枝[illegible]技師の媒介に依り[illegible]中學校長柴崎鐵吉氏長女千代子[illegible]と婚約成立し廿七日夜[illegible]けたる由尚は[illegible]

遞信俱樂部娛樂會

遞信局營繕課內[illegible]を以て組織せる遞信俱樂部にては[illegible]家族的の娛樂會を催す[illegible]後六時より[illegible]當日の番組左の如し
▲活動寫眞▲活人畫▲[illegible]▲寄劇▲薩摩琵琶▲劍舞▲假裝舞踏▲スケッチ▲活動寫眞以上

天長節奉祝　大提灯行列

來る三十一日午後六時

市民諸君の振つて參加を希望す

市民奉祝會

三十餘年間猛獸を友に

虎は十七頭射止めたが　―熊や猪は無數で記憶に無い

（老狩獵家の話）

成北會寧に住まつてゐる砂金五郎（五二）さいふは永年同地方で狩獵に從事してゐる男だが同人は此程茂山さ鏡城さの間で

◆熊 三頭、猪十三頭を射止めて歸つた、その獵家を訪れると眞黑い顏に微笑を浮べながら『私が茂山を出たのは二十日計り前ですが茂山から二里計りの所で熊一頭を擊止めたを始めに二三日前鏡城に出るまでに熊と猪さを合せて十六頭獲ましたが火藥が缺乏したため急いで出て來ました火藥さへあれば猶は深山獲物があつたのです

◆一 番多く獲れたのは鏡城で同地の憲兵さんが今十數頭の猪が狹を渡つて向ふの山へ向つたさ聞きそれを追跡して峰に行く迄に三頭を射止め峰を越ねてから四頭を射止め都合七頭獲ました熊は山を出て最初に一頭獲つたのを皮切へ出る少し手前で二頭獲つたのですが昨今熊は

◆赤 い小さな實のなつて居る木の枝を折て其實を喰て居るのを溪の向ふから射つので危險でも何でもないのです一體猛獸を射つには上の方から射つのが安全で下の方から打つさ手負となつて飛び掛る時にやられます上の方から打つと其心配がないのです獲物は

◆皮 を剝ぎ猪は皮さ膽を取り肉は鮮人に賣り熊の肉は大概只で遣つて仕舞ひますが皮は熊で一枚二十圓猪で三四圓と云ふ所です元來私は若い時から獵が好で十七歲の時から此年まで續けて遣つて居りますが朝鮮へ渡つたのは明治三十六年で初めは南鮮地方で

◆雁 を打ちましたが一年に二千羽獲つた所で一羽四十錢さしても八百圓內外でツマリませんから夫れから猛獸狩獵に北鮮の奧地へ乘り込み南鮮地方から北鮮に出掛け滿洲地方も二回近く四年來して一昨年から北道へ移つて居りますが何さ云つても狩獵は猛獸狩に限るので虎など一頭で二百圓から五六百圓になるので鳥や小獸は

◆今 では獲りません昨春は江原道に行き金剛山附近で熊六頭ご猪四十九頭を獲りましたが猛獸は矢張り北道の茂山、富寧、會寧郡地方が一番多いようです私が今日まで狩獵した獲物は虎の十六七頭丈けは覺えて居るが熊や

◆猪 は殆んご無數で記憶に存じて居りません此附近にも猪が多いのです近いのは此處で少し橫に入つた邊りには猪が多いので日曜遊り出掛けるもの面白いですよと話つた翁は同人は火藥を仕入れ更に奧地に入るとの話しであつた

狂者の群（一）

總督府醫院の精神病室を參觀するの記

奇遇奇遇―小學校時代の舊友が冷めたい病室に―しかも彼れは私を心から覺えてはゐなかつた

最後に案內された一室には、丸々と肥つた鮮人の青年が[illegible]ゐた。一寸思ひ出せないけれども何處かで見た人の樣な氣がしたので沈氏にその病名[illegible]つて段々[illegible]

[illegible]には一緒に[illegible]なやりに往つた事もあつた、それから彼は故國を離れて遠くアメリカに往つた後彼の音信が絕えて了つたその後彼はアメリカに往つてゐる間にホームシックに罹つて

●惱まし い生活をやつてゐたといふ事を人の傳言に聽いてゐたが、今この總督府醫院の東八で再び逢はふとは！あゝ、解らぬものは人の運命！沈氏は『あの人は自分の御父樣が見ゐても判らないのですよ』と。しかし僕が何うして氣なくそのまゝ離られやう！僕は彼の手を取つて『何といふ情けない事だ、君が僕を知らないとは

●十何年 前東京で一緒に遊んでゐたS―だよ知らないか！』と[illegible]知つてゐる[illegible]はト―だと。知らないとは何といふ事だ。僕は知りません、とボケた顏！しかし彼は怪訝さうに『私を知らないか』と聲を慄はせて言寄つて、東京で別れたK―だ。私は走りけれども、これは確かに十何年前に[illegible]さ、成程見違へる程變つてゐる、そしてよく〳〵その人の顏を見る名前を聞いて思はずゾッとした。

●智力が 鈍つて往く病氣である。名前はK―といふのです。』といふ。私はK―といふ[illegible]

●頭垂れ 彼は急に首を垂れ『僕の頭はこの頃何なしてゐるのか知ら！』と淚を浮べる。あゝ、たさへ精神に異狀があるさはいふものゝ何さいふ哀しい語！―さつき醫師も云はれた通り世間の人は彼の不幸な人々を狂者だ、氣違だと云つて嘲笑する。イヤ僕も輕蔑した。果して僕等に彼等を嘲笑し、侮蔑する權利があるだらうか―この世に精神に異狀のない完全な人が幾人ゐるだらうか、幾人ゐるだらうか―たさへその發作が表面には顯はれないにしてもそういふ狂者の心持を持つてゐる者が單に東八や東病舍にゐる病者ばかりだらうか？ロンブロゾーは天才は

●狂人だ といふ說を主張したが果してその說に真理があるといふなら、シエキスピアも狂者だゲエテも氣違だ！ナポレオンもシーザーも。バイロンの樣な情熱家は狂者の中の狂者であらう。そしてこれら天才は悉くあの陰鬱な板張の室の中にとぢ込められて世人に侮蔑され、虐待されなければならなかつたであらう！私の頭には色々な考へが渦卷いて暫らくは我を忘れて何にも言へなかつた。私は沈氏の好意を謝して死んだ逃げる樣に東八を飛出した。外には午後の秋の日が溫さうに芝や枯の上に軟かい光りを投げてゐた。（晴星子記）

うわさ

▲石坡亭の秋色はやゝ後れ氣味だがそれでも秋の眺めは石坡亭ご謳はれて居る丈けあつて紅葉の色は眼も綾に染め出されて今日の日曜は最も見頃である▲許されて李偶公別莊の靜閑自正しく酒の氣樣を洗ふ園內を逍遙して秋色を仰げば亭々たる木の翠色を背景に錦繡燃ゑ出でし其の色彩の配合實に申分なき眺めである▲毎年拜觀の榮を辱ふし李坡公よりは親しく茶を賜りつゝ公の溫顏に接して亭前の風光を賞した事もあつたが公は逝かれて亭內も何となく寂寥を覺ゑ秋色徒らに映ねつゝ有るを見ては今昔の感慨に堪へなかつた▲更らに龍岩あたりに杖を曳けば庭前から眺めたとは趣きが異つて松の翠濃やかなる間から紅黃の色殊に映ゑて更らに別趣の觀がある▲遠く眺めば彰義門を中心として遙かに秋色に彩られた古城壁などを望み得も言はれぬ一種の秋の感じが偲ばれつゝ亭を出づれば▲折柄赤陽北漢一帶の連山を射て恰も停車坐愛楓林晚の景趣を添て詩情裡々たる者がある▲歸途德富本社監督の鵲巢居を訪へば秋溪の圖である京城の秋色は今や到る處に溢れて行樂子の訪づれを待つてゐる

家庭化粧料

上品な隱化粧

肌アレを防ぎ色白くする

ホーカー液

博覽會、展覽會　お芝居、音樂會　郊外の紅葉狩　遠足會、運動會　訪問、御買物

定價 八十錢、四十錢、二十錢　送料 內地無料、滿鮮料十錢

東京神田和泉橋　堀越嘉太郞商店　振替東京一五六

.6—35

質　大黃金町二丁目日橋町　電話二九一六番　迎日口獻　田村質店　商品擔保便利取扱

調劑康健有效保證　KAZEPIRIN　大學病院處方劑　解熱完全劑　感冒劑　東京　本舖　東京市[illegible]　淺野榮天堂藥局

◎募集　代理店及外務員　收五十圓以上確實的有金ある者事業[illegible]希望者[illegible]　東京市神田區鍛冶町十八番地　帝國勸業合資會社　電話神田一四五〇、一四五一、一四五二

眼科專門　入院隨意　京城明治町東拓前（電話二〇四四番）　江頭眼科醫院　日曜祭日午後二時迄　江頭富雄

及中瓶取替

旅行具專業　岩田鞄店　京城本町二丁目　電話五九四番

資本金參百萬圓　明治三十八年設立　當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切に取扱申候　京城府南大門通四丁目五番地　株式會社漢城銀行　長男爵 李允用　專務取締役 韓相龍　支配人 張弘植　電話 一六四六番、二一三九番　振替 京城一八六二、二〇五番　支店所在地 水原、平壤、大田、開城、南大門　出張所所在地 鍾路、東幕

櫻御殿

第五十二回　大阪　霞の家主人

三左衛門の血（九）

一語は一派、直政が總ての事情と、家康の上意とを細々傳へるのを聞いて、圖書は覺悟の面を擡げた

『お使ひがらと申し、御上意の御主意、具に拜聽仕る、戰場に屍を曝らすも、疊の上で御用に立つも、捨つる命は一つ、謹んで仰せを承はるでござりませう』

まことに立派な答であつた、この立派な口上を聞くについても、此ほどの武士をむざ〳〵と殺すのが、直政は惜しくて堪らなかつた、圖書を惜む一面には、正則が是非に關はらず我意を通さうとする亂暴な仕方を憎む心が死ら火と燃ゑるように立つた

『御心中推量申す、然し只今のお詞を内府公へ申し上げたら、さぞ御滿足に思召すであらうと思ふ、卒爾ながら介錯は我等が致す、心靜かに御用意を爲させられへ』

直政が涙ながらに云ふと、圖書は厚意を歡んで後

『只一つ承はり置きたいことがござる、左衛門太夫家來大崎三左衛門と申すは、何れほどの身分を持つた者でござり申すな』と訊ねた

『されば、我等も熟くは心得ぬが、二百石取の近習役と申すを聞た』

『二百石?、二百石?』と圖書は口の中で繰り返して、『三左衛門は輕躍でござり申す喃』

『輕躍ながら左大殿秘藏の家臣さうちや』

二百石取の輕躍と、一萬五千石の大身と、首級の遣取をしようといふので、正則の心の驕慢を知ることが爲きる、正則の言分こゝに立つて、圖書の首を見ることが爲きたら、三左衛門の死に光輝は添ふが、圖書は二百石取の輕躍と同じ格に落ちねばならぬ、圖書としては忍びぬ事である

然し『何事も忠義の爲め』と觀念して、潔く切腹の用意をする、主の爲めに命を捨てるのは、武士の習ひ、寧ろ名譽に思ふ程である、が、事情が事情であるから死に難い、死に難くはあるが死なねばならぬ、圖書は白裝束に身を調へた

白木の三寶に九寸五分の短刀、疊の上に白布を敷いて、四隅に榊の葉を立てる、三左衛門づれの相手として、一命を捨てたまふお心が痛はしい、とあつて、家臣の面々が無念の齒を切る、中には正則の陣營へ押し掛けて、東國武士の骨を見せようと敦圍くもあつたが、そんな事をしては、内府公の御身に災害が掛るかも知れぬと云ふので、人々が引き止める、中にも圖書の近習頭を勤めて居た水島嘉市は切腹の場まで從いて來て、堪へ切れぬ無念の情を打ち出す、

『さぞ御無念でござりませう、さぞ〳〵御無念でござりませう』

榊の葉際に平伏して、男泣きに泣き出す、嘉市は二十の壯士、十二の時から近習を勤めて、片時も圖書の側を離れたことのない忠義士であつた、圖書は見て

『嘉市、これにて今生の別れを致すぞ、戰場では足輕小人の射出した箭の根にも命を失ふ、それでも三左衛門はまだ武士ぢや』と心おり氣に云つた

京城旭町三丁目　京染商　つたや　電話一〇九六番

『御心中御推量申し上げまする』

『三左衛門を相手に死ぬるでない、内府公仰せを退つて死ぬる、すれば後世に思ひ置くことは無い、家中一統心得違ひのないやう、お主からきつと申せ』

『その儀は心得、この御鬱憤は何時の代にか晴らさいでは置きませぬ』

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病　黴毒病　淋病　膀胱病　生殖器　機能障碍
皮黴科　佐藤醫院　京城明治町二丁目（元二丁目）　電話一一七三番
日曜祭日午後二時迄

『おゝ』と圖書は嬉し氣に云つて目前に坐つて居る直政を見上げ

『切腹お見屆け下さりませう』

三寶を押し戴く、直政は詞もなく立ち上る、白鞘の一刀を持つた家臣は、背の方から膝行出て、直政の手へ渡した

『暫く、暫く』

あはや短刀の鞘を拂はうとする直政の袖に縋つて、斯う止めたは嘉市であつた

日報俳壇

砧

對岸は國を異にす砧かな　骨堂
灯に妻の眉美しき砧かな　同
鮮人は城外に住む砧かな　森象
麓廻れば我が家灯して砧哉　同
寺多き村舉り打つ砧かな　逐天
コスモスの月夜となりし砧哉　同
眞晝寂しう砧打つ柿の小家哉　信女
兒を寐せて淡き安堵や遠砧　同
月に咽ぶ虫の中なる砧かな　不二
鴨居から戻が落ちし砧かな　神卿
塞殼の焚火が火照る砧かな　草兒
砧打つ妻に月射す庇かな　醉江
親在す山に月照る砧かな　二口
放浪の身に沁む夜半の砧哉　都次郎
夜たゞ打つ隣のヨボの砧哉　後凋
心々に物思はする砧かな　鷺城
里の夜の唯更けまさる砧哉　山紫坊
讀書する心定らぬ遠砧かな　腐葉

▲課題『冬の句』の外『□□』一題五句乃至十句とし各題必ず別紙に認められたし、當分締切期日なし

菊　□　―五の日十日付―　浮碧樓

菊の秋芽がとゞき手紙に書いてある

大阪株式特電

二十七日前場　前場　後場

大阪商船	一七四五〇	
日本郵船	二六〇〇〇	
同新株	二三六、六〇	
堂島米株		
北濱株式	[illegible]	
大阪株式	一六九、一〇	

大阪たより

高値	二三、九七	二三、九九	二三、七一
安値	二三、八八	二三、八九	二三、五七
出來	二三、九五	二三、九〇	二三、七〇

府は全般より之を見れば第一回の四百石乃至[illegible]收穫像想高三十一萬石に對し八郡に九十石並に西成郡に對して[illegible]分四厘即ち十萬五千石内外の減收[illegible]薬を贈る事に決したるが同時に[illegible]過ぎざれば近年の如き豐年續き[illegible]を機會として農作物の品質改良並[illegible]を除外とすれば平年收穫高百二十[illegible]を圖る爲め時に兵庫[illegible]者を圖るの極的行爲を執るべく[illegible]大阪門司及び主要各港行商客の早[illegible]期に共協定を見昭腹不足の折柄[illegible]の關消に經過され來れる[illegible]供給契約を有し而も大部分低廉なる一厨期長するの傾きありたるが細陶器生物に對し割當の[illegible]

新刊紹介

□ ヅボンを重ねて眞顔の妻よ菊咲きぬ　田
□ 灯明る菊の鉢よごれてゐるなり　華
□ 一面識もなくして訪ひし日の菊　鳥堂

▲朝鮮鑛石學及び採鑛法（安藤鑛山部技師著）―地質學一般、鑛物通論、鑛物特論、採鑛法、朝鮮の地質鑛石等の諸篇に別ちて鑛業家の知悉せざるべからざる智識を遺憾なく公開せるものにして斯界に於ける智識皆無の者にも一たび本書を讀まば確かに一廉の鑛山通たるに至るべき至極便利なる良書なり殊に鑛石分析及鑑定表、朝鮮鑛業令を附錄とせるは錦上更に花を添へたる觀あり（一圓二十錢、本社代理部發賣）

▲採鑛冶金學講義錄　講義平易にして容易に了解し得べし會費一ヶ月五十錢十八ヶ月修了東京神田區大工町八其會發行

▲東亞時論　第二創刊號　十錢東京小石川西江戸川町八北社

▲工業（九ノ一〇三）二十錢東京府下不入斗三三四、工業改良叢會發行

▲隨鷗集（一五六）三十錢東京千駄谷町隨鷗吟社

讀者の領分

▲錬路通二丁目で朝鮮人商家に面白い名が二つあり曰く古物商の『貰物屋』曰く小物商の『賑價屋』である、後者は名が面白い許りであるが前者は眞逆か古道具を只貰つて賣るといふ譯でもあるまいに（電車生）

▲私は貧乏ながら出來る丈けの事をして小供を運動會に出しました而して其夕方歸つて來ましてつまらなかつたとしよげて居ますから其譯を聞て見ますると運動も三回やり綱引きには勝つたので皆さんは何やら貰つたけれど僕には何にも呉れぬと申します其麽で私は先生が名を呼んでも知らなかつたでせうと問ひますと二回の名も呼ばず皆には呉れたが僕には何も呉れなかつたと涙をこぼしました嗚呼貧乏人の子程可愛想なものはありませぬ（母親より）

▲大空を翔ける事の空想とせしは已に昔、今は徒らに飛ぶ鳥を羨む時代は過ぎて改良進步の研究時代で過日の歐洲戰亂で御承知の通りであるが之と同時に之等の模型が第二の國民たる少年の手に依つて研究せられ益々進步を視るに到つたのは祝福す可きである玩具と云へば玩具であるがあの簡單な模型飛行機を作る間に受ける研究的發明的智識の發達は著しいものであると信ずつまらないイタヅラをして遊ぶのと同じの論でない近來京城にも漸く流行した樣であるが遲蒔きながら喜ぶ可き事と思ふ、でも未だ内地邊に比べるに到らぬ、多は智識階級の人に作られてゐるがそれでも素晴らしい勢ひで材料が賣てある想だ、此際京城日報社の主催で模型飛行大會をやつて頂きたいものである識者の意見及執筆同を御願ひする次第である（お積み生）

梅毒藥　唯一丸
梅毒、淋病、瘰癧、横根、肝臓其他毒ある方は局所に潰瘍を生じ骨節カレ膝痛不眠に或は身體の倦怠を感じ毛髮脫落し記憶力減退し憂鬱と成り[illegible]りません最善の驅梅藥唯一丸を御用あれば驚くべき偉効を奏し[illegible]詳細なる事は說明書を要求せられよ
唯一丸は全國有名藥店にて販賣す
定價　一週間分八十錢二週分一圓五十錢一ヶ月分三圓、特製分五圓、十圓
東京牛込神樂坂上　中西葆光堂　振替千五百番

セキズイ
病者よ余が實驗全治の良藥ある難治の人照會あれば無料にて詳細を回答す
豐橋市新停車場通　寺部藥院

梅毒　生殖器諸病
痳病　ひふ病　一般
外科　肛門病　痔瘻　其他
專門　[illegible]醫院

最新形　優良堅牢
ルーデサック
美特製一打六十錢二打以上送料不要
特製形一個廿五錢女用一個八十錢
一箇増加七十五錢郵券代用
注文次第直送
京城三坂通百五番地　森上商會

京城黄金町三丁目　電話二四四三番　振替京城三二八番
内科、眼科、小兒科　本田醫院　院長　本田進
痔核。痔瘻。脫肛。裂痔。痔出血。直腸脫
本田醫院附屬　京城肛門療院
肛門病の話　解說書入用の方は郵券十二錢要す
持疾持匯注射根治療法

健胃消化錠　ゴルフ
タカヂアスターゼを主藥とせる胃腸の新製劑なり
二十錠　四十錠　一圓
東京室町　泰昌製藥株式會社

りん病ばい毒　患者諸君
◎にせドラッグあり御注意
近來東京其他各地にドラッグあり販賣して居られざる樣御用心あれ當京城に於ても元祖以外にドラッグ商會と稱する者あらば其は全く吾が商號を盗用する詐欺漢なり
切に患者諸君の御注意を乞ふ　詳細本月一日の本紙掲載
京城南大門外停車場通　花柳病專門藥房　ドラッグ商會　滿鮮本部
電話二五六七番　振替京城四六七番

お化粧の順序　＝（その三）＝

自然の色艶を増し
際立つて美くしくする
附のよい＝レート粉おしろい

▽先づクレームレートを下地に
▽引いた上へレートの粉刷き
▽三都は元より何處でも流行

S　孃……（問）……
手輕で美くしいお化粧は、どうしたら、いゝんでせう？

K　夫人……（答）……
私の實驗をお話いたしませう。否、今一般に流行して居る方法をお傳へ致しませう。

S　孃……（問）……
どうぞお願ひ致します。私はいつも、お化粧附が悪く、手間取れて閉口して居るのですから……

K　夫人……（答）……
以下K夫人の實驗談＝東京婦人間に於て推奬せられ、盛んに流行を來せる化粧法。

令　お聞きでせう
一分間美顏術として評判のクレームレート。之れを、先づお顏の下地に引いて、一たん之れを綿手拭で拭きこり其上へレート粉白粉を鼻の先きを少し濃い目に刷くこと、たゞそれ丈けの手間で、美事に美くしいお化粧が出來上ります。

令　何故そんなに
至極手輕で美くしいお化粧が出來るのかと、不審がられるでせうが、クレームレートは少しも油物性脂がなく毛孔の底から整へて肌を柔かにする上に、レート粉白粉は、分子が微細く、被覆力が強く其上決して斑になつたり、剝げたりしません

令　然も落附きが
シットリ致しますから、クレームレートと相俟つて、美くしく上品なお化粧が出來るので、殊に白さが自然で艶のある點は、到底他品では見る事も出來ません。お肌の締る此等、私の實驗を試して御覽なさい屹度『成程』と感心なさるでせう。

レート化粧料　本舖　平尾贊平

京日案内
▲各種御照會の節は必ず數字の番號御記入なさるべし　▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず　▲六回以上の御申込は特に値引　▲御照會は返信附にあらざれば回答せず

普通
◎經驗ある外交員數名採用希望者は履歴書送れ但保證人二名を要す　釜山府草梁　慶南印刷株式會社　757
◎電話開通（三千百五番）大和町一丁目四一　杉野樂器店　755

番外
◎助手一名看護婦及見習生若干名採用す志望者は至急仁川支局へ申込れたし　仁川京日仁川支局　758
營業部員　男女を問はず至急入用希望の者は履歴書携帶本人來談あれ　黄金町二丁目　京城新聞社　261
◎鑛物各種分析　太平町二丁目三六（電二八三三）道旋商油店向側入る　松永分析所　575
京城春川間　貸自働車　賃金片道一圓　◎京城發前八時　◎春川發前八時　京城水標橋通　電話二一三八番　春川自働車商會　松田壽男　6 5
◎はねつぎ　うちみ　くじき　一切の治療御依頼に應ず　明治町　柔術道場　638
內勤事務員採用　月俸二十圓以上履歴書携帶受驗事　日本生命保險株式會社　開城代理店　738
向き　會社事務所讓渡し　什器造作有姿の儘　姓名在社　766

東下だしの妙藥　[illegible]の素

ひびあかぎれやけどかんそうの　一夜膏

風ひきマラリヤねつさまし　香蝶丸
到る處に支店出張所及び指商員アリ販賣シ關係特約販賣店アリ
釜山本町一丁目　日本一藥舖代理店

日本郵船仁川出帆
大連行　太沽（天津）牛莊行
和歌丸　十月三十日
高砂丸　十一月九日
三河丸　十一月廿日　正午出
仁川海岸町一丁目　堀回漕部

尼崎汽船仁川出帆
相山、木浦、釜山、下關、神阪行
大有丸　十一月三日後四時出
神代丸　十一月廿七日後四時出
君が代丸
▲印大阪直行
仁川海岸通一丁目　電話九二番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆
鎭南浦、大連行　臨時總督府命令航路
第廿共同丸　十一月一日午後八時入港
朝鮮總督府遞信局命令航路にて鎭南浦に定期航運搬上等取扱合に候
阿波共同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕部　南大門通（電話二五〇七）
京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆
神戸、大阪行
濟州丸　十月　日後二時出
濟州丸　十月　日後二時出
南浦、神戸、大阪行
信濃丸　十月　日後二時出
安東、釜山、濟州、長崎行
安東丸　十月廿九日後二時出
安東丸　十一月十六日
鎭南浦行
汕頭丸　十月
濟州丸　十月
安東丸　十一月十一日後二時出
宮島丸　十月廿七日　十一月廿九日
上海、天津行
安平丸　十一月八日
蕪湖丸　十一月三十日
御注意　[illegible]
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇番
切符發賣所　京城支店　内國通運會社
切符發賣所　仁川京城通　開學旅館

朝鮮郵船　釜山出帆廣告
汽船　門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　十月三十日後五時出
立神丸　十月　日後五時出
元山、清津、浦鹽行
立神丸　十月廿九日後十時出
和歌浦丸　十月　日後四時出
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　十月　日後六時出
門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　十月　日後六時出
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天貝丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山港埋立新町　本船取扱店　大池回漕部

朝鮮郵船
[illegible]
元山より各地經由雄基行
平壤丸　十月三十日
成鏡丸　十一月四日
京城丸　十一月　日
忠清丸　十一月　日　釜山發
元山より各地經由雄基行
穩城丸　十月三十日
鏡城丸　十月廿八日
平壤丸　十月　日　元山發
浦項行（元山より城津間經由）
平安丸　十月　日　元山發
元山長箭間
穩城丸　十一月一日
鏡城丸　十一月廿九日
三浦丸　十一月一日　元山發
釜山浦項間
一時休航
鬱陵島行浦項及各地經由
昌德丸　十月廿七日　釜山發
浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　毎日　釜山發
濟州島行長承浦麗水巨文島經由
慶寶丸　十月　日　釜山發
麗水行（各地經由）
統營丸　巨濟丸　毎日　釜山發
木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
一時休航　三日目毎に木浦發
木浦より濟州島行（各地經由）
西歸浦　公州丸　十月廿九日
慶興丸　十月廿七日　木浦發
多島海各島行
慶興丸　十一月二日　木浦發
木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸　十月廿七日
麗水丸　十一月一日　仁川發
鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸　十月三十日　仁川發
濟州島行（元舞島長承浦經由）
全州丸　毎日　仁川發
南陽丸
江華島行（芝栗大連經由）
江原丸　十月廿九日　仁川發
本社　電話長一九五三番
京城支店　南大門驛前松原運送店　電話一二〇
分店及代理店荷客取扱所　電話[illegible]